取扱説明書

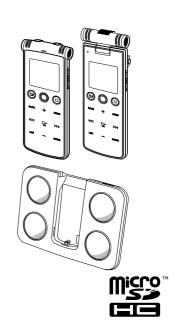
デジタルサウンドレコーダー

品番 ICR-XPS01MF
ICR-XPS03MF

ICR-XPS01MF/ICR-XPS03MF は、デジタルサウンドレコーダー本体 (ICR-XPS01M/ICR-XPS03M) とマルチクレードル（ASX-SP00X) の組み合わせ品番です。

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、後々のために大切に保管してください。

- この取扱説明書は「保証書付」です。「お買い上げ日」「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

ご愛用者登録について

ご愛用者登録およびアンケートのご記入を御願いいたします。

http://products.jp.sanyo.com/support/user/index.html

INDEX

本機だけで操作する項目です。
パソコンを使用する項目です。
本機、パソコン共通の項目です。

目次

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。
- 「安全上のご注意」は、本体と付属品の注意書きです。お買い上げの製品によっては、本体の仕様や付属品が異なります。

安全のため必ずお守りください。

■警告表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示	内容
⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害の可能性があります。

■絵表示の例

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に、具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は、注意することを意味します。）

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は、分解禁止を意味します。）

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は、電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

本体と付属品に共通のご注意

⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするときは使用を中止し、以下の処置を行う

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。

① 本機の電源を切る

② マルチクレードル使用時は電源プラグをコンセントから抜く

③ 電池を取りはずす

- 上記の処置の後、煙が出なくなったことなどを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

■ 雷が鳴り出したら使わない

- 雷が鳴り出したら機器に触れないでください。感電の原因となります。特に広い野原などでの使用は危険ですので、速やかに落雷を回避できる場所へ避難してください。

■ 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない

- 電池や小さな部品を飲み込むなど、思わぬ事故の原因となります。
  万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

■分解・改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 点検・調整・修理は、お買い上げ販売店にご依頼ください。
- AC アダプターは直流電源器として使用しないでください。

本体のご注意

⚠警告

■運転中は使用しない

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。

■使用時は周囲の状況に注意する

- 周囲の状況を把握しないまま使用すると、事故やけがなどの原因となります。
- 歩きながら使用するときは、事故を防ぐため周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。
- 航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故の原因となることがあります。

■ ぬらさない

- 機器は防水構造になっていませんので、ぬらすと火災、感電の原因となります。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、電源を切り、速やかに電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり破損した場合は、電源を切り、電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

- ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれるおそれがあります。また、始めから音量を上げ過ぎていると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■爆発の危険があるところで使用しない

- 可燃性ガスおよび爆発性ガスが大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

⚠注意

■ 長期間使用しない場合の注意

- 安全のため電池を取りはずしてください。電池の発熱や液漏れなどにより、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 置き場所に注意

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

- 結露などによる火災や感電の原因になります。
- 温度が 5℃未満、または 35℃を超える場所では使用しないでください。
- 湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
- 水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■熱くなる部分に長時間触れない

- 使用中は、本体表面が多少熱くなります。温度が高くなる部分に長時間触れていると、低温やけどの原因となることがあります。

■ 布や布団でおおったり、包んだりしない

・ 熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因になることがあります。

■ ズボンのポケットなどに入れない

・ ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったとき等に力が加わり、壊れることがあります。

マルチクレードルと AC アダプターのご注意

⚠危険

■ 指定されたリチウムイオン電池以外は充電しない

・ 付属のリチウムイオン電池以外の電池を充電すると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となります。

■電源電圧 AC100V で使用する

・ AC100V 以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因となります。
・ 詳しくはお買い上げ販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口」（取扱説明書に記載）にお問い合わせください。

■ぬらさない

・ 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災､感電の原因となります。
・ 風呂、シャワー室では使用しないでください。
・ 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜き、速やかに電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

⚠警告

■ 電源プラグの注意

・ 電源プラグはコンセントへ根元まで確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・ 電源プラグを根元まで接続してもゆるみがあるコンセントは、使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。
・ 電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。火災、感電の原因となります。
・ 電源プラグやコンセント、それらの周辺にほこりなどを付着させないでください。ショートや発熱が起こり、火災の原因となります。付着したほこり・よごれなどは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除いてください。
・ 電源プラグをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らないでください。電源プラグが傷み、火災、感電の原因となります。

■電源コードを傷つけない

- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具を近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだり、電源プラグに接触不良が生じた場合は、すぐにお買い上げ販売店にご連絡ください。

■電源コードの注意

- 付属の AC アダプターの電源コードのプラグをコンセントに差し込んだまま、マルチクレードルから電源コードを抜いたままの状態にしないでください。ぬれた手で触れたり幼児が口に入れたりすると、感電の原因となります。
- 必ず付属の電源コードを使用してください。他の電源コードを使った場合は、コードの電流容量などの違いにより火災の原因となります。
- 付属の電源コードはこのマルチクレードル専用です。火災、感電の原因となりますので、他の機器には接続しないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグをさわらない

- 感電の原因となります。

⚠注意

■不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり破損した場合は、本機を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

- 付属のマルチクレードルは磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、ビデオテープ、テレビやモニターなどは、マルチクレードルのそばに置かないでください。データが破損し使用できなくなる場合や、テレビ画面が変色するなどの悪影響があります。

■使用上の注意

- 付属のマルチクレードルおよび AC アダプターを使用してください。
- 他のマルチクレードルおよび AC アダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。また、火災や感電など思わぬ事故が起きる可能性があります。
  付属のマルチクレードルおよび AC アダプターは、指定の機器にのみご使用ください。他の機器への接続は絶対に行わないでください。故障の原因となります。

■使用・保管場所の注意

- ストーブの前など発熱体の近くや直射日光の当たるところなどでは使用しないでください。動作不良や故障の原因となることがあります。
- 結露などによる火災や感電の原因になります。
- 温度が 5℃未満、または 35℃を超える場所では使用しないでください。
- 湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
- 水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。
- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
  また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。
- 旅行などで長期間ご使用にならない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になることがあります。

microSD カードのご注意

⚠注意

■ microSD カードの注意

- 使用直後の microSD カードは高温になることがあります。microSD カードの取りはずしは、本体の電源を切り microSD カードの温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 幼児やお子様の手の届くところに放置しないでください。誤って口に入れるなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

■ microSD カードの取り扱い上のご注意

- microSD カードは精密部品です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 極端に高温や低温になる場所、直射日光の当たる場所、しめきった車の中、暖房器具のそば、湿気やほこりの多い場所での使用や保管はさけてください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところでのご使用・保管は避けてください。
- microSD カードの端子部に、ごみや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったとき等に力が加わり、壊れることがあります。

- 他の機器で使用していたり、未使用のmicroSDカードは、必ず本機で初期化（フォーマット）をしてからご使用ください。初期化の方法については取扱説明書をお読みください。
- 市販品をご使用になる場合は、microSDカードに付属の取扱説明書をよくお読みください。
- microSDカードを取り出すとき、ばねの力でmicroSDカードが飛び出し、けがをしたり、microSDカードを紛失したりするおそれがあります。microSDカードを指で押さえながらゆっくりと取り出してください。

電池についてのご注意

安全上のご注意 （下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）	電池の種類と危険の度合い 充電式のリチウムイオン充電池
禁止 ■ **当社製電池以外は使用しない** ・指定された電池以外は使用しないでください。安全のため、模造品は使用しないでください。指定以外の電池を使用すると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となります。	⚠危険
■ **液漏れ、変色、変形、外傷、変なにおいなどに気付いたときは、すぐに機器から取り出して使用を中止し、火気から遠ざける** ・異常状態のまま使用を続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。 ・液漏れしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。	⚠危険
分解禁止 ■ **変形・分解・改造しない** ・変形、分解、電池に直接半田付けするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因となります。	⚠危険
禁止 ■ **プラス⊕とマイナス⊖を針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない** ・ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因となります。	⚠危険
禁止 ■ **火中に投入したり、加熱しない** ・絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火、破裂の原因となります。	⚠危険

安全上のご注意 （下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）		電池の種類と危険の度合い 充電式のリチウムイオン充電池
禁　止	■ 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない ・ 安全機構や保護装置が壊れて電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険
水ぬれ禁止	■ 水や海水につけたり、端子部分をぬらさない ・ 腐食により安全機構や保護装置が壊れて電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険
禁　止	■ 付属のマルチクレードルまたは指定の USB 対応 AC アダプター以外では充電しない ・ 付属のマルチクレードルまたは指定の USB 対応 AC アダプター以外の充電器で充電すると、過度あるいは異常な電流での充電状態となって電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険
禁　止	■ 指定機器以外の用途に使用しない ・ 指定機器以外の用途に使用すると、異常な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険
禁　止	■ 電池の外装をはがしたり、傷つけたりしない ・ 外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険
⚠	■ 電池から漏れ出た液がついたときは、すぐに洗い流す ・ 万一液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずにきれいな水で洗った後、ただちに医師にご相談ください。液が皮膚や衣服についたときは、皮膚に障害をおこすおそれがあります。ただちにきれいな水でよく洗い流してください。	⚠危険

安全上のご注意 （下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）	電池の種類と危険の度合い 充電式のリチウムイオン充電池
⚠ ■ 指示通りに入れる ・ 極性（プラス⊕とマイナス⊖）に注意し、表示通りに入れてください。 ・ 万一極性を逆に入れた場合、充電時には異常な化学反応が起こったり、使用時には異常な電流が流れたりして発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険
禁　止 ■ 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める ・ そのまま続けて充電すると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠警告
⚠ ■ 充電して使う ・ お買い上げ後初めての使用や、長時間使用しなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。充電中に電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。	⚠注意
⚠ ■ 使用直後は高温になることがある ・ 電池の取りはずしは、機器の電源を切り電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。	⚠注意
⚠ ■ 廃棄とリサイクルについて ・ 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。 ・ リチウムイオン電池は、環境保護と資源の有効利用をはかるため、ご使用済みの電池は放電状態にした後、プラス ⊕ 端子とマイナス ⊖ 端子にテープをはり、絶縁状態にしてから、リサイクルにご協力ください。 Li-ion リチウムイオン電池はリサイクルへ	⚠注意

■ 充電式のリチウムイオン電池の使用・保管場所の注意

- **使用時温度：5℃～ 35℃**
- **保管時温度：5℃～ 35℃**
  電池を使用しないときは、機器からはずし、5℃～ 35℃で湿気のないすずしい場所で保管してください。
  45℃以上になる場所で保管しないでください。
- **湿度：10%～ 90%（非結露）**
- 充電時温度：室温 35℃前後の非常に暑い場所で充電する場合、充電回路の安全装置がはたらくため、途中で充電が止まり満充電にならないことがあります。30℃以下の環境での充電をおすすめします。
- **火のそばや炎天下の車中など（60℃以上になるところ）で使用しないでください。**
- 電池ラベルをはがして使用すると、機器故障の原因となります。
- 高温になると、電池内の安全機構や保護装置が壊れて、異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。安全機構や保護装置が壊れると、電池は使用不可能になります。
  極端な高温や低温環境では、電池の容量が低下し、使用できる時間が短くなります。また、電池の寿命も短くなります。
- 満充電に近い状態での保管は避けてください。ほぼ使い切った状態での保管をおすすめします。
- 過放電状態になると、充電しても使えなくなることがありますので、半年に 1 回 5 分程度充電してください。
- リチウムイオン電池は使用条件によって、寿命が近づくにつれて膨らむ場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上に問題はありません。
- リチウムイオン電池は消耗品です。充電を繰り返す毎に一回で使用できる時間が次第に短くなってきます。目安として、十分充電しても使用できる時間が購入時の半分以下程度になったら、電池パックの寿命が近づいていると言えます。早めに交換することをおすすめします。

正しくご使用いただくために
必ずお守りください

■お手入れとご注意

●お手入れのしかた

① 電源を切って、電池を取りはずす
② 柔らかい布で汚れを軽くふき取る

●ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 機器に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間、接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■ 電池について

- 電池の端子部（接点）は、時々、乾いた布などで汚れをふき取ってください。電池の端子部を直接手で触れると、汚れが付着して酸化し、接触抵抗値の増加が発生することがあります。接触抵抗値が増加すると、電池の使用可能時間が短くなる原因となります。

■ 長期間使用しないときは

- 電池を取りはずしてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電池を入れて作動させてください。
- 機器の機構上、電源を切っても微少電流が流れています。充電式電池を長時間本機に入れたままにすると、過放電状態になると、充電しても使えなくなることがありますので、半年に一回は 5 分程度充電してください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送や MD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容 (データ) の損失を防ぐために

1. 録音前には必ず試し録音をしてください。
2. 録音データを他の機器にバックアップしてください。
3. 電池の残量が充分にある電池をお使いください。

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

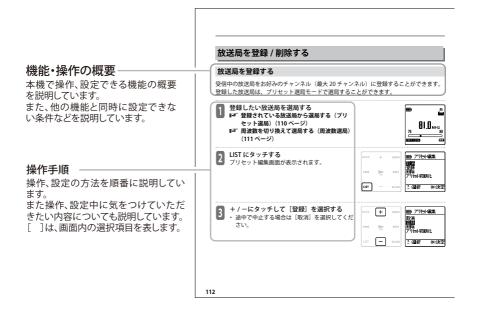
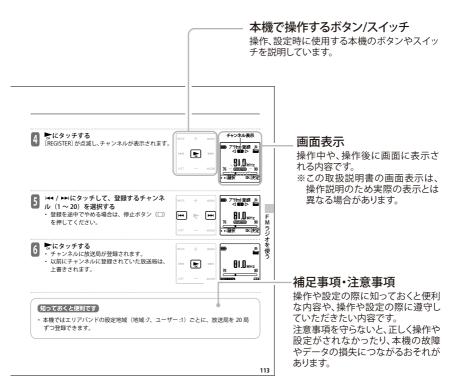
本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

商標および登録商標についての注意

- Microsoft、Windows Media™ および Windows® ロゴは米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- Windows Media™ Player は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- microSD ロゴ、および microSDHC ロゴは商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

本書の見方

- 本書の中では、「microSD™ メモリーカード」、「microSDHC™ メモリーカード」を総称して「microSD カード」と表記しています。
- 本書に掲載している画面は、microSD カードが本機に挿入されている場合の画面で説明しています。本機には microSD カード（ICR-XPS01MF は 2GB、ICR-XPS03MF は 4GB）を付属しています。
- ☞は、参照・補足する内容が記載されているページを表します。

- 本書の表記中の録音残時間や各種設定の表示は、録音状態によって異なることがあります。また、microSD カードの種類によって異なることがあります。

付属品を確認する

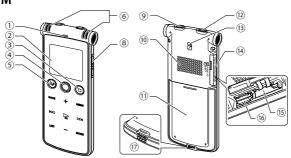
箱から出して、以下の付属品がそろっていることを確認してください。

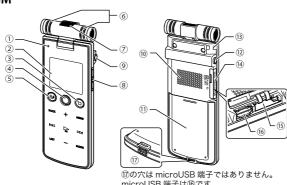
デジタルサウンドレコーダー本体 ICR-XPS01M　ICR-XPS03M	ステレオイヤホン *1
	microUSB 接続ケーブル
	ステレオオーディオケーブル
マルチクレードル（ASX-SP00X）	マルチクレードル用 AC アダプター
	リチウムイオン充電池
	microSD カード *2 本書（保証書付き *3） かんたん操作ガイド

*1 本機ではリモコン付きなどの 4 極プラグ端子ステレオヘッドホンは使用できません。
*2 ICR-XPS01MF は 2GB、ICR-XPS03MF は 4GB です。
*3 本書の裏表紙が保証書になっておりますので、大切に保管してください。

各部のなまえとはたらき

本体部

■ ICR-XPS01M

⑰の穴は microUSB 端子ではありません。
microUSB 端子は⑯です。

■ ICR-XPS03M

⑰の穴は microUSB 端子ではありません。
microUSB 端子は⑯です。

① LED ランプ
録音中は赤く点灯し、本機が録音中の状態であることをお知らせします。
タッチ操作部での操作時およびボタン操作時に、点灯または点滅して反応をお知らせします。（LED 設定 ON 時）

② 液晶パネル
本機の状態や様々な情報を表示します。
また、使用状況に応じて、パネルの明るさ（バックライト）やコントラストを調整することもできます。

③ 停止ボタン（□）
ファイルの録音や再生を停止します。
現在の操作をキャンセルし、一つ前の画面に戻ります。

④ 録音ボタン（○）
録音を開始します。
録音中に押すと録音を一時停止します。もう一度押すと、一時停止を解除し、録音を再開します。

⑤ シーン / 操作案内ボタン（♪）
録音シーン設定を呼び出します。
各状態で押し続けている間、設定可能な操作案内を表示します。

⑥ 内蔵ステレオマイク
本機内蔵のステレオマイクです。

⑦ ズームマイク（モノラル）（ICR-XPS03M のみ）
本機内蔵のズームマイクです。
遠方の音を録音するときに、内蔵ステレオマイクと切り換えて使用します。

⑧ 電源 / ホールドスイッチ
電源のオン / オフをおこないます。
電源オンのときは短押し（スライド）、電源オフのときは長押し（スライド）します。
スイッチをホールド側にスライドさせるとホールド機能がはたらきます。

⑨ 外部入力（ライン）/ マイク端子
外部機器をこの端子に接続して、本機で録音することができます。
また、外部マイク（別売）をこの端子に接続して、本機で録音することができます。

⑩ スピーカー
再生中の音声が出力されます。

⑪ 電池カバー
付属のリチウムイオン充電池を入れる、または交換するときに開けるふたです。

⑫ ヘッドホン端子
ヘッドホンで音を聞くときに使用するステレオヘッドホン端子です。

⑬ ストラップ穴
ストラップを取り付ける穴です。

⑭ microUSB/microSD カードスロットカバー
カバーを開けると、microUSB 端子と microSD カードスロットがあります。
使用しないときは、カバーを閉じておいてください。

⑮ microSD カードスロット
録音や再生などで使用する microSD カードを挿し込みます。

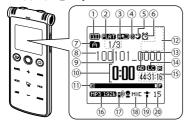
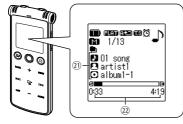
⑯ microUSB 端子
パソコンや USB 対応 AC アダプターと接続する端子です。

⑰ 専用 I/O 端子
マルチクレードルに接続する端子です。

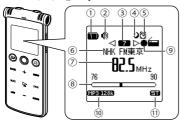
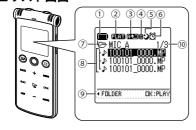
液晶パネル

すべての画面を一度に表示することはできません。

■基本画面

● RECORD モード

● MUSIC モード

①電池残量
②サウンド EQ モード表示
③リピートモード表示
④タイムスキップ表示
⑤スリープタイマー表示
⑥タイマー表示
⑦フォルダ名
⑧ファイル名
⑨ファイル番号 / フォルダ内のファイル総数
⑩録音経過時間表示（録音時）
　再生経過時間表示（再生時、停止時）
⑪microSD 残量バー表示
　（録音時、RECORD モードでの停止時）
　再生位置バー表示
　（再生時、MUSIC モードでの停止時）
⑫本機の動作状態表示
　▶再生中
　● 録音中
⑬自動無音分割表示
⑭ Low Cut フィルタ表示
⑮ 録音残時間（録音時、停止時）*
　 ファイル再生総時間（再生時）
⑯録音モード表示（録音時、停止時）
　再生中ファイルの録音モード表示（再生時）
⑰録音シーン表示
⑱外部入力設定（MIC/LINE）
⑲マイク感度、マイク指向性表示
⑳**0 ～ 30** 録音レベル表示（ALC オフ時）
　VAS VAS 表示（ALC オンで VAS オン時）
㉑ タイトル名
　 アーティスト名
　 アルバム名
㉒再生経過時間、ファイル再生総時間

* 「録音可能残時間」は基本画面の中央右側に「 **:**:**」と常時表示され確認ができます。

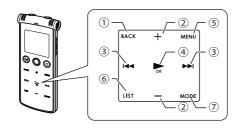
● FM RADIO モード

①電池残量
②スピーカー固定表示
③チャンネル表示
④ スリープタイマー表示
⑤ タイマー表示
⑥放送局表示
⑦周波数表示
⑧受信時 : 周波数バー表示
録音時 : microSD 残量バー表示
⑨本機の録音状態表示
● 録音中
❚❚ 録音一時停止中
⑩ラジオ録音モード表示（MP3 128k 固定）
⑪FM 受信モード
（**ST**: ステレオ、**MO**: モノラル）

■リスト画面

①電池残量
②サウンド EQ モード表示
③リピートモード表示
④ タイムスキップ表示
⑤ スリープタイマー表示
⑥ タイマー表示
⑦選択中のフォルダ
⑧選択中フォルダ内のファイル（フォルダ）
⑨操作ガイド表示
⑩ファイル番号 / フォルダ内のファイル総数

液晶パネルのコントラストの調整をすることができます。

☞ **画面のコントラストを調整する（166 ページ）**

タッチ操作部

① 戻る / センテンス再生（BACK）
メニュー操作中やリスト画面操作中にタッチすると、一つ前の画面に戻ります。
再生中にタッチすると、設定した秒数だけ戻して再生します。

② 音量（＋ / ー）
スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。
メニュー操作中やリスト画面操作中にタッチすると､同じ階層内の項目やファイル（またはフォルダ）を選択します。

③ 早戻し、早送り（⏮ / ⏭）
再生中にタッチすると、ファイルの頭出しやファイルの早送り、早戻しをします。
停止中は、フォルダ内のファイルを選択します。
メニュー操作中やリスト画面操作中にタッチすると、一つ上（または下）の階層へ移動します。

④ 再生 /OK (▶)
ファイルを再生します。
再生中にタッチすると ⏮ / ⏭ で再生スピードの調整ができます。
メニュー操作中やリスト画面操作中にタッチすると、選択した内容を決定して、次の画面に移ります。

⑤ メニュー（MENU）
設定メニューを表示します。
再生中にタッチすると､｢再生設定メニュー｣を表示します。
録音スタンバイの状態でタッチすると、「録音設定メニュー」を表示します。
ゴミ箱フォルダ選択中にタッチすると、「消去メニュー」を表示します。
プレイリスト（P1 ～ P5）選択中にタッチすると、「プレイリスト編集」画面が表示されます。

⑥ リスト（LIST）
リスト画面に切り換わります。もう一度タッチすると基本画面に戻ります。
再生中にタッチすると、再生中のファイルの一部分を繰り返し再生（A-B リピート）します。

⑦ モード（MODE）
本機の動作モードとフォルダの選択画面が表示されます。
録音中、または再生中にタッチすると、聞きたい場所の頭出しに便利なインデックスを付けることができます。

ボタン / タッチ操作部のバックライトについて

設定メニューの「LED 操作ナビ」の設定が「ON」の場合、ボタン / タッチ操作部のバックライトは、録音中や再生中および FM 放送受信中などの各種操作状況において、操作可能な部分のみ点灯します。
状況に応じて、バックライトが点灯しているボタンを押す、またはタッチ操作部のバックライトが点灯している部分に軽く触れてお使いください。

☞ **LED 操作ナビ（167 ページ）**

（例 : マイク ALC オンで録音中の画面とボタン / タッチ操作部）

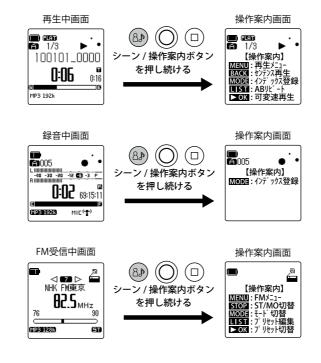
マイク ALC オンで録音中

ボタン / タッチ操作部
のバックライト

設定メニューの「バックライト」の設定を変更することによって、設定後に液晶およびタッチ操作部のバックライトが消灯する場合があります。
タッチ操作部のバックライトが消えている状態から操作するときは、最初に一度タッチ操作部にタッチすると、バックライトが点灯しますので、その後タッチ操作部での操作をおこなってください。
設定メニューの「バックライト設定」が「消灯」の場合は、30 秒経過すると画面、操作部ともに暗くなるため、状況を確認する場合は、タッチ操作部を一度タッチしてください。

☞ **バックライトを設定する（166 ページ）**

操作案内画面について

録音中や録音スタンバイ中、および再生中にシーン / 操作案内ボタン（♪）を押し続けている間、「操作案内」画面が表示されます。
現在有効な機能とタッチパネルでの操作を案内します。

本機の動作モードと基本画面について

本機は、「FM RADIO モード」、「RECORD モード」、「MUSIC モード」の 3 つのモードを切り換えて使うことができます。

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

■ FM RADIO モード

FM RADIO モード

本機で FM ラジオ放送を聞いたり、録音したりすることができます。
本機で FM 放送を聞くときは、ヘッドホン端子にヘッドホンを接続してください。

☞ **FM ラジオを使う（106 ページ）**

■ RECORD モード

RECORD モード

本機の内蔵マイクや外部入力（ライン）/ マイク端子にマイクや外部機器を接続して、音声を録音することができます。

☞ **録音する（63 ページ）**

本機で録音した音声を再生することができます。

☞ **再生する（84 ページ）**

■ MUSIC モード

MUSIC モード

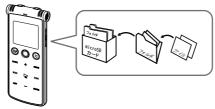
パソコンに取り込んだ音楽などを本機に転送し、ミュージックプレイヤーとして使うことができます。

☞ **本機で音楽を聞く（186 ページ）**
☞ **音楽ファイルを作成する（CD リッピング）（187 ページ）**
☞ **Windows Media Player で音楽ファイルを転送する（189 ページ）**
☞ **MUSIC モードでの再生について（94 ページ）**

また、お気に入りの曲のみを登録し、お好みの順番で再生することもできます。

☞ **プレイリスト機能（MUSIC フォルダのみ）（101 ページ）**

ファイル / フォルダについて

１回の録音データを「ファイル」、そのファイルを入れておく場所を「フォルダ」と呼びます。本機では複数のフォルダ（MIC_A、MIC_B など）が用意されており、ファイルはフォルダに収納されて microSD カードに保存されます。

知っておくと便利です

■フォルダとメモリ（microSD カード）の使い方について

●ファイル

１回の録音操作（録音→停止）をするごとに、１つのファイルが作成されます。
何度録音しても上書きはされず、消去動作を行なわない限り、各ファイルは消えません。

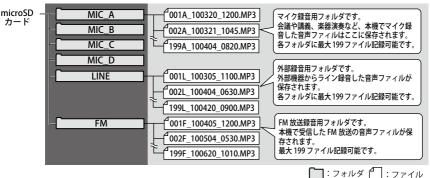
●フォルダ

ファイルを入れておく場所です。MIC_A →会議、MIC_B →英会話のレッスンなど、用途に応じてファイルの収納場所を分けると、あとから必要なファイルを探しやすくなります。

●メモリ（microSD カード）

本機では、microSD カードを録音用メディアとして使用します。メモリ内をどう整理するか（どのフォルダを使うか、各フォルダにいくつファイルを入れるか）は、メモリの最大録音時間、最大ファイル数を超えない限り、自由にお使いいただけます。

録音用フォルダについて

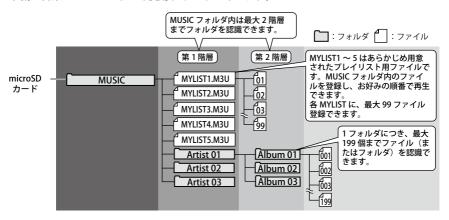
本機には録音用フォルダとして、マイクで録音した音声が保存されるMICフォルダ(A〜D)、外部機器からライン録音した音声が保存されるLINEフォルダ、FM RADIOモードでFM放送を録音した音声が保存されるFMフォルダがあります。

・ 拡張子が".INX"のファイルはインデックス情報です。このファイルをパソコンで消去するとインデックス情報はなくなります。

録音したファイルの名前について

本機で録音したファイルは次の構成で自動的に名前がつきます。

・本機ではファイル番号やフォルダの種類は表示されません。パソコンに接続した場合に確認できます。
・本機で録音したファイルの名前をパソコンで変更した場合、MIC_A ～ MIC_D フォルダやLINE フォルダ、FM フォルダでは再生できなくなります。上記のファイル名ルールに従った名前に変更するか、MUSIC（M）フォルダに移動して再生してください。

MUSIC フォルダ（音楽フォルダ）について

MUSIC フォルダは、パソコンから MP3、WMA ファイルなどを転送して再生するフォルダです。お手持ちの音楽 CD などをパソコンに取り込み、MUSIC フォルダに転送することで、本機を音楽プレーヤーとして使用することができます。

☞ **MUSIC モードでの再生について（94 ページ）**

ご注意

■ MUSIC フォルダにパソコンからフォルダごと転送したファイルについて
MUSIC フォルダにパソコンからフォルダごとファイルを転送した場合、リスト画面では、「MYLIST1 ～ 5」の後に、パソコンから転送したフォルダが表示されますので、タッチ操作部の音量（ー）にタッチして、転送したフォルダがあることを確認してください。
☞ **リスト表示する（41 ページ）**

■ MUSIC フォルダのファイル数の表示について
MUSIC フォルダ内に 199 以上のファイルがある場合、ファイルを消去しても、ファイル数が 198 以下になるまでは、ファイル数の表示は 199 のままになります。

■ MUSIC フォルダの最大ファイル数について
MUSIC フォルダの最大ファイル数（199 ファイル）には、サブフォルダやプレイリストファイル（MYLIST1 ～ 5.M3U）も含まれます。

その他のフォルダについて

● RECYCLE フォルダ（🗑）
ゴミ箱フォルダです。ゴミ箱機能がオンの時、本機で消去したファイルがこのフォルダに移動されます。ゴミ箱フォルダ内のファイルは元に戻すことができますので、誤って消去した場合などでも安心です。
☞ **ゴミ箱機能について（130 ページ）**

● DATA フォルダ
本機からは見えません。本機をパソコンに接続したときに見ることができます。
ワードやエクセルなどのファイルを入れて、本機を microSD カードリーダー / ライター（リムーバブルディスク）として使うためのフォルダです。
☞ **microSD カードリーダー / ライターとして使用する（192 ページ）**

動作モード / フォルダを切り換える

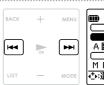
1 電源を入れる
☞電源を入れる（44 ページ）

2 MODE にタッチする。
モード選択画面が表示されます。

3 ＋ / －にタッチして動作モードを選択する
FM RADIO: FM RADIO モード
RECORD: RECORD モード
MUSIC: MUSIC モード

4 RECORD モード、MUSIC モードを選択した場合は、⏮ / ⏭にタッチしてフォルダを選択する。

● RECORD モード
A ～ D: マイク録音したファイルのフォルダ
L: ライン録音したファイルのフォルダ
FM: FM 放送を録音したファイルのフォルダ
ゴミ箱 : ゴミ箱フォルダ

● MUSIC モード
M: パソコンから転送した音楽ファイルのフォルダ
P1 ～ P5: M フォルダ内に用意されているプレイリストファイルのフォルダ

5 ►(OK)にタッチする。

選択した動作モードおよびフォルダに切り換わります。

- FM RADIO モードを選択した場合は、FM ラジオ画面に切り換わり、FM ラジオを受信します。
- RECORD モードを選択した場合は、基本画面に戻ります。
- MUSIC モードを選択した場合は、リスト画面に切り換わります。

- フォルダの切り換えはリスト画面から行なうこともできます。

リスト画面の操作

リスト画面は、フォルダやファイルをツリー型の一覧で表示します。目的のフォルダやファイルをすばやく簡単に選ぶことができます。

リスト表示する

RECORD モードや MUSIC モードの基本画面で LIST にタッチすると、リスト画面に切り換わります。
リスト画面は、基本画面で選択していたファイルを最初に表示します。
もう一度、LIST にタッチすると、基本画面に戻ります。

- 再生中や録音中は、リスト画面を表示できません。再生中に LIST にタッチすると、AB リピートが設定されます。再生または録音を停止してからリスト画面に切り換えてください。
- ファイル名が画面に収まらない場合、カーソルを合わせたまま、しばらく待っているとスクロール表示します。

☞ **録音したファイルの名前について（36 ページ）**

■リスト画面に表示されるアイコンについて

上図は例です

リスト画面で操作する

ファイルとフォルダの切り換え選択は＋ / −、⏮ / ⏭ **にタッチする**だけで行うことができます。

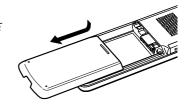
■リスト表示中の各ボタンとタッチパネルの機能

	＋	**カーソルを上方向に移動します。**
	−	**カーソルを下方向に移動します。**
	⏮	**一つ上の階層に戻ります。**
	⏭	**選択中のフォルダを開きます。**
	▶ OK （再生 /OK）	フォルダ選択時は、選択中のフォルダを開きます。 ファイル選択時は、選択中ファイルの再生を開始します。 選択したフォルダにファイルがない場合は、「再生するファイルがありません」と表示してから基本画面に戻ります。
	MODE	フォルダを切り換えます。
	LIST	リスト画面を終了して基本画面に戻ります。
	BACK	1 つ上の階層に戻ります。
	MENU	プレイリスト編集画面が表示されます。（MUSIC フォルダ選択時）
	録音ボタン（○）	リスト画面を終了して録音を開始します。
	停止ボタン（□）	リスト画面を終了して基本画面に戻ります。

電池を入れる

付属のリチウムイオン充電池を本機に入れます。

1 **電池カバーをあける**

電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせてください。

2 **リチウムイオン充電池を矢印の方向に入れて、電池カバーを閉める**

- リチウムイオン充電池の挿入方向マーク（△）の向きに注意して入れてください。
- リチウムイオン充電池を取り外したまま 5 分以上放置すると、カレンダー設定がクリアされることがあります。この場合は、再度、カレンダー設定を行なってください。録音した内容やアラーム設定は消えません。

■ 電池を外す

本体のくぼみの部分に指を入れ、リチウムイオン充電池を矢印の方向に持ち上げて外してください。

電源を入れる / 切る

■電源を入れる

電源スイッチを矢印の方向にスライドさせる

- 電源が入り、「HELLO!」と画面に表示された後、レジューム機能により前回電源を切る前に選ばれていた動作モードが表示されます。
- RECORD モード、MUSIC モードでは前回停止した位置から再生することができます。（再生レジューム機能）
- FM モードでは、FM 受信画面が表示されます。
- ファイル数や microSD カードの容量によって、起動に時間がかかる場合があります。

■電源を切る

電源スイッチを矢印の方向に 2 秒以上スライドさせる

2 秒以上

SEE YOU!

・「SEE YOU!」が表示された後、電源が切れます。

知っておくと便利です

■初めて電源を入れたときは

初めて本機の電源を入れたときは、カレンダーやお使いの地域の設定を行ってください。

☞カレンダー（日時）を設定する（58 ページ）
☞お使いになる地域を設定する（60 ページ）

■オートパワーオフ機能について

オートパワーオフ機能の設定により、電源が入った状態で設定した時間放置すると自動的に電源が切れます。（お買い上げ時は「15 分」に設定されています。）

☞オートパワーオフ（166 ページ）

電池の残量について

電池の残量は、画面で確認することができます。

▭ が表示された場合は、早めに充電してください。

- 電池が切れると、画面に「電池切れです。電池を充電してください。」と表示された後、画面が消灯します。
- 電池切れの際、設定メニューの「BEEP 音設定」が「警告音」に設定されている場合は「BEEP 音」が鳴ります。
- 周囲の温度や使用状態などにより、電池の持続時間が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。

ご注意

- 電池の残量がほとんどない状態でも、一度電源を切った後に再び電源を入れると、実際の電池の残量よりも多い状態を表示することがあります。この時、録音や予約録音をすると、電池の残量不足のため途中で録音が終了され、電源が切れることがありますのでご注意下さい。
- **使用済みの電池は、各地方自治体の定める条例に従って廃棄してください。**

レジューム機能について

電源が切れる前の本機の動作モード、ファイル、再生位置状態を記憶し、次回電源を入れたときに前回電源を切ったときの状態で起動する機能です。
ただし、以下のような場合には、レジューム機能ははたらきません。
- フォルダを切り換えたとき
- パソコンに接続したとき
- 電源オフ操作を行わずに、電池または microSD カードを抜いたとき
- AC 動作モードで電源オフ操作を行わずに、本機と外部電源の接続を外したとき
- 電源オン後に microSD カードを挿入したとき

リチウムイオン充電池を充電する

本機に付属のリチウムイオン充電池は、本機に入れた状態でパソコンやマルチクレードルで充電することができます。
☞マルチクレードルで充電する（56 ページ）
☞パソコンまたは USB 対応 AC アダプターで充電する（174 ページ）

AC 動作モードで使用する（マルチクレードル）

付属のマルチクレードルに接続し、AC 動作モード（外部電源）で使用することができます。

1 **本機の電源を切った状態で、本機をマルチクレードルに差し込む**

☞マルチクレードルを使う（54 ページ）

- 充電が開始されます。

2 **マルチクレードルの電源を入れる**

- AC 動作モード時は、電池残量表示が ■⊏ に変わります。
- 本機でラジオ放送を受信したり、音声ファイルを再生したりすると、マルチクレードルのスピーカーから音声が出力されます。

マルチクレードルから本機を取り外すときは、マルチクレードルの電源ボタンを押して本機の電源を切ってから取り外してください。

準備する

AC 動作モードで使用する（USB 電源）

外部電源としてパソコンの USB 端子からの電源供給または USB 対応 AC アダプター（別売）がご利用可能です。

1 **付属の microUSB 接続ケーブルをパソコンの USB 端子、または USB 対応 AC アダプター（別売）に接続する**

- USB 対応 AC アダプターは、コンセントに差し込んでください。

2 **本機の電源を切った状態で、停止ボタン（□）を押しながら、専用 USB 接続ケーブルのもう一方を本機に接続する**

- AC 動作モード時は、電池残量表示が ■⊏ に変わります。
- 電源オンの状態で接続した場合は、AC 動作モードになりません。

AC 動作モードを終了するときは、電源ボタンを 2 秒以上スライドさせ、本機の電源を切った後、microUSB 接続ケーブルを本機から取り外してください。

- 必ず本機の電源を切ってから取り外してください。録音中や再生中など microSD カードへのアクセス中に、microUSB 接続ケーブルを抜いたり、パソコンの電源を切ったりしないでください。ファイルが壊れる場合があります。
- もう一度電源をオンにするときは、一度本機を USB 端子や USB 対応 AC アダプターから取り外し、再度手順**2**を行ってください。
  ☞ **パソコンに接続する（172 ページ）**

ご注意

■ AC 動作モード（マルチクレードル、USB 電源）で使用時のご注意

- AC 動作モードでの連続録音時間は 1 ファイルにつき最大 24 時間です。ただし、録音中のファイルサイズが 2GB を超える場合は、2GB で一旦録音を停止してファイルを作成し、引き続き新しいファイルで録音が再開されます。録音停止から録音再開までの間（2 秒程度）の内容は録音されません。
- 本機の使用中及び、不適切な使用や停電などにより生じた損害、逸失した利益が発生しても、補償に関しては、当社では一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- AC 動作モードで長時間の連続再生はしないでください。
- マルチクレードル以外の AC 動作モード（パソコンの USB 端子や別売の USB 対応 AC アダプターを使用した場合）では、外部ノイズの影響を受けやすいので、ラジオの受信・録音を行う場合は、電池またはマルチクレードルでお使いください。

誤動作を防止する（ホールド機能）

本機をカバンやポケットに入れたときなどに、物と接触して起こるボタンやスイッチなどの誤動作や、誤動作による電池の消耗を防ぎます。本機をカバンやポケットに入れているときは、誤動作防止のためホールド設定をすることをおすすめします。

電源スイッチを HOLD 側にスライドする

" ホールド設定 " が表示され、各ボタンが機能しなくなります。

FLAT
0/0
ホールド設定

電源スイッチを戻すと、ホールド機能が解除されます。

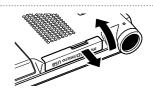
" ホールド解除 " が表示され、各ボタンが機能します。

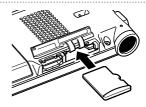
microSD カードを取り付ける / 取り外す

本機は、録音、再生に microSD カードを使用します。

- **他の機器で使用していたり、未使用の microSD カードは、必ず本機でフォーマットしてからご使用ください。**
  ☞ microSD カードを初期化する（フォーマット）（139 ページ）

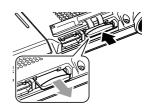
1 **本機の電源を切る**
☞ 電源を切る（44 ページ）

2 **microUSB/microSD カードスロットカバーを開ける**

3 **● 取り付けるとき**
microSD カードスロットに、microSD カードを図の向きにまっすぐに差し込み、「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

- microSD カードを差し込む前に差込口を確認してまっすぐ差し込んでください。
- microSD カードを取り付けても認識しない場合は、いったん microSD カードを抜き、再度挿入し直してください。

● 取り外すとき

microSD カードを軽く押し込む

microSD カードが少し飛び出します。
ゆっくりと引き抜いてください。

- **ばねの力で microSD カードが飛び出し、けがをしたり、microSD カードを紛失したりするおそれがあります。microSD カードを指で押さえながらゆっくりと取り出してください。**

microUSB/microSD カードスロットカバーを閉じる

本機で使用可能な microSD カード

本機は 1GB 〜 2GB の microSD カード、および 4GB 〜 8GB の microSDHC カードに対応しております。(2010 年 1 月現在)

- microSD カード、microSDHC カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
- 当社基準において動作確認済のカードについては、当社サポートホームページをご確認ください。
  http://jp.sanyo.com/icr/support/gaibu.html

■ microSD カードの取扱いについて

- 本機で microSD カードを使うときは、microSD カードをフォーマットしてください。**フォーマットは必ず本機で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットした microSD カードは、使用できないことがあります。**
  ☞ microSD カードを初期化する（フォーマット）（139 ページ）
- microSD カードは、本機に正しく取り付けてください。正しく取り付けていないと本機で microSD カードへの録音 / 再生ができません。
- microSD カードの取り付け / 取り外しの際に、必要以上に力を入れないでください。手や指をけがするおそれがあります。また、microSD カードおよび本機のカードスロットが破損するおそれがあります。
- microSD カードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSD カードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたりしないでください。
- 当社基準において動作確認済の microSD カードをご使用ください。動作確認済以外の microSD カードを使用すると、データの消失や故障の原因となるおそれがあります。
- 本機の電源を入れたまま、microSD カードの抜き差しをしないでください。microSD カード内のデータが破損するおそれがあります。
- microSD カードは、サイズが小さいため抜き差し時の取り扱いには、充分ご注意ください。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- microSD カードを腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データ消失の原因となります。
- microSD カードを廃棄する場合、内部データが流出するおそれがありますので、内部データを消去するだけでなく物理的に microSD カードを破壊したうえで廃棄することをおすすめします。
- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違うと microSD カード、および microSD カードスロットが破損するおそれがあります。
- **microSD カードは、小さなお子様の手に届くところには絶対に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。**
- 電源オン時に microSD カードを認識しない場合、一度電源をオフにし、microSD カードを挿入し直してから、再度電源をオンにしてください。

本機の使用場所について（FM ラジオモード）

本機でラジオを受信する場合は、窓際などラジオの電波を受信しやすい場所でご使用してください。

- 窓から遠い部屋の中や、ビルの中は電波が届きにくいため、本機のご使用は避けてください。

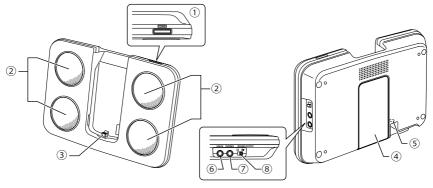
- テレビやパソコンなどの家電製品の近くは、ノイズの影響を受けやすく電波を受信しにくいため、本機のご使用は避けてください。

マルチクレードルを使う

付属のマルチクレードルにデジタルサウンドレコーダー本体をセットすると、デジタルサウンドレコーダー本体を充電したり、AC 電源で動作させたりすることができます。また、FM ラジオ放送や音声ファイルの再生をマルチクレードルのスピーカーから出力することができます。

マルチクレードルを設置する

マルチクレードルに AC アダプターを接続し､マルチクレードルを使用できる状態にします。

- マルチクレードルは、安定した水平な場所に設置してください。
- デジタルサウンドレコーダー本体をマルチクレードルに接続し、音楽や FM ラジオを聞く場合は、ステレオイヤホンをデジタルサウンドレコーダー本体のヘッドホン端子からマルチクレードルのヘッドホン端子に差替えてください。
- クレードルにセットした状態でマイク録音した場合は、モニター音声は聞こえません。

① 電源ボタン
デジタルサウンドレコーダー本体の電源をオン / オフします。

② スピーカー
デジタルサウンドレコーダー本体の音声が出力されます。

③ 専用 I/O 端子
デジタルサウンドレコーダー本体と接続する端子です。

④ スタンド
引き出して使います。

⑤ AC アダプター接続端子
付属のマルチクレードル用 AC アダプターを接続する端子です。

⑥ ラインイン端子
外部機器をこの端子に接続して、デジタルサウンドレコーダー本体で録音することができます。

⑦ ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続する端子です。
FM ラジオを聴くときは、この端子に付属のステレオイヤホンを接続してください。

⑧ 出力切換スイッチ
デジタルサウンドレコーダー本体の音声出力をヘッドホンまたはスピーカーに切り換えます。

デジタルサウンドレコーダー本体をマルチクレードルにセットする

■マルチクレードルにセットする

1 デジタルサウンドレコーダー本体の電源を切った状態で、本機をマルチクレードルに差し込む

2 マルチクレードルの電源ボタンを押す
デジタルサウンドレコーダー本体の電源が入り、「HELLO!」と画面に表示されます。

■マルチクレードルから取り外す

1 **マルチクレードルの電源ボタンを押す**

「SEE YOU!」が表示された後、デジタルサウンドレコーダー本体の電源が切れます。

・ クレードルに AC アダプターを接続している場合は、充電モードになります。

2 **デジタルサウンドレコーダー本体をマルチクレードルから抜く**

マルチクレードルで充電する

デジタルサウンドレコーダー本体の電源を切った状態でマルチクレードルにセットする、またはデジタルサウンドレコーダー本体をマルチクレードルにセットした状態で電源を切る

充電中表示

充電中

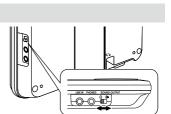
・ LED ランプが点灯し、充電を開始します。
・ 充電が完了すると、LED ランプが消灯し、充電中表示が消えます。
・ 充電時間は約 150 分です。
　※充電時間は、おおよその目安であり、使用環境によって変わります。特に室温 35℃前後の非常に暑い場所で充電する場合、充電回路の安全装置が働くため、途中で充電が止まり満充電にならないことがありますので、30℃以下の環境での充電をおすすめします。

マルチクレードルの音声出力を切り換える

■ヘッドホンで聞く場合

マルチクレードルの出力切換スイッチを🎧に切り換え、マルチクレードルのヘッドホン端子にステレオイヤホンを挿します。

■スピーカーで聞く場合

マルチクレードルの出力切換スイッチを🔊に切り換えます。

マルチクレードルを使って外部機器から録音する

マルチクレードルの外部接続端子に外部機器を接続し、録音することができます。

・ 録音中の音声は、マルチクレードルのスピーカーからモニターされます。

☞ **外部機器から録音する（80 ページ）**

外部機器の音声をマルチクレードルで鳴らす

マルチクレードルの外部接続端子に外部機器を接続し、録音スタンバイの状態にすることによって、マルチクレードルに接続した外部機器の音声を、マルチクレードルのスピーカーから鳴らすことができます。

☞ **外部機器から録音する（80 ページ）**

マルチクレードルをデジタルサウンドレコーダー本体の電池で使う

マルチクレードル用 AC アダプターをマルチクレードルから外した状態でデジタルサウンドレコーダー本体をセットすると、マルチクレードルへの電源の供給はデジタルサウンドレコーダー本体から行われます。
マルチクレードルを、デジタルサウンドレコーダー本体の外部スピーカーとして屋外などで使用するときに便利です。

・ AC アダプターをつながなかった場合、スピーカーの音声出力が下がります。また、デジタルサウンドレコーダー本体のリチウムイオン充電池を消費します。
☞ **電池持続時間（212 ページ）**

カレンダー（日時）を設定する

日付と時刻を設定しておくと、録音した日と時刻の情報がファイルごとに自動で記録されます（タイムスタンプ機能）。また、ファイル名に録音日時の情報が入りますので、正確に日時設定をしておくことをおすすめします。
ここでは、カレンダーを「2010 年 12 月 20 日 24H 13 時 30 分」に設定する手順を説明します。

1 **本機の電源を入れる**
☞ 電源を入れる（44 ページ）

2 **MENU にタッチする**
設定メニュー画面が表示されます。
・ FM モードでは画面表示が異なります。

3 **＋ / −にタッチして、［共通設定］を選択する**

4 **►にタッチする**
「共通設定」画面が表示されます。

5 ＋ / －にタッチして、［カレンダー設定］を選択する

6 ►にタッチする

「カレンダー設定」画面が表示されます。

7 カレンダー日時を設定する

① ⏮ / ⏭にタッチして、西暦、月、日、24H/12H（AM/PM）、時、分を選択する

② ＋ / －にタッチして、数値を変更する

8 ►にタッチする

カレンダーが設定され、「共通設定」画面に戻ります。

MENU にタッチしてメニューを終了する

お使いになる地域を設定する

お使いになる地域を設定することで、設定した地域の放送局が登録されます。

1 **本機の電源を入れる**

☞電源を入れる（44 ページ）

2 **MENU にタッチする**

メニュー画面が表示されます。

・ FM モードでは画面表示が異なります。

3 **＋ / －にタッチして、［ FM 設定］を選択する**

4 **にタッチする**

「FM 設定」画面が表示されます。

5 ＋ / －にタッチして［エリアバンド］を選択する

6 ►にタッチする

・エリアバンド設定画面が表示されます。

7 ＋ / －、⏮ / ⏭にタッチしてお使いになる地域を選択する

例 : ここでは［大阪］を選択しています。

☞ **エリアバンド一覧（196 ページ）**

・エリアバンドにない地域でご使用の場合、オートプリセットを使うと、ご使用になる地域の放送局を自動で登録することができます。

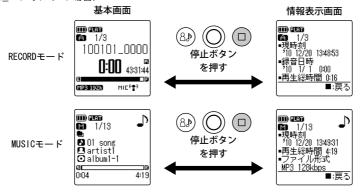
☞ **オートプリセット（163 ページ）**

8 ►にタッチする

エリアバンドが設定され、［ラジオ設定］画面に戻ります。

MENU にタッチしてメニューを終了する

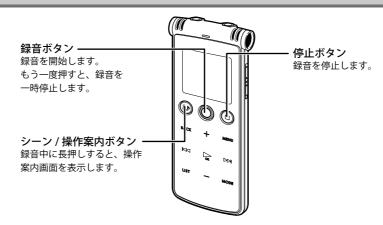
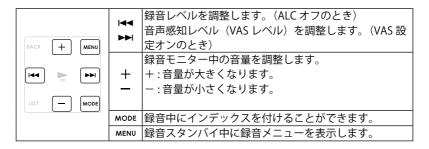
表示情報を切り換える

RECORD モード、MUSIC モードで停止中に、停止（□）ボタンを押すと、現時刻やファイルの情報が表示されます。もう一度押すと、元の画面に戻ります。
（例 :MIC_A フォルダの場合）

※MUSIC フォルダは、フォルダ内に再生対象ファイルがあっても「録音日時」は表示されません。また、録音残時間も表示されません。

※「録音可能残時間」は基本画面の中央右側に「R **:**:**」と常時表示され確認ができます。

録音する

録音の基本操作

BACK + MENU ⏮ OK ⏭ LIST − MODE	⏮ ⏭	録音レベルを調整します。（ALC オフのとき） 音声感知レベル（VAS レベル）を調整します。（VAS 設定オンのとき）
	＋ −	録音モニター中の音量を調整します。 ＋ : 音量が大きくなります。 − : 音量が小さくなります。
	MODE	録音中にインデックスを付けることができます。
	MENU	録音スタンバイ中に録音メニューを表示します。

・ AC 動作モードで録音中は、本機をパソコンや USB 対応 AC アダプターから取り外さないでください。正常に停止せずに取り外すと、microSD カード内のデータが壊れる可能性があります。

録音について知っておきたいこと

風切り音について

本機は高性能マイクを搭載しているため、マイクに直接息や風があたるような状況下では、風切り音が録音されます。
そのような場合は、設定メニューで「Low Cut フィルタ」（☞ 152 ページ）を「ON」に設定して録音することをおすすめします。

録音可能時間について

録音可能時間とは、お買い上げ時の何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合の最大合計時間です。
録音モードによって音質と録音可能時間が変わります。
工場出荷時は「MP3 192kbps」ですが、用途に応じて録音モードを変更してください。
また、録音可能時間は、SD/SDHC カードの製造メーカーや種類、カード内のデータの状況によって異なります。

☞ 録音モード（149 ページ）

・ AC 動作モードでの連続録音時間は 1 ファイルにつき最大 24 時間です。ただし、録音中のファイルサイズが 2GB を超える場合は、2GB で一旦録音を停止してファイルを作成し、引き続き新しいファイルで録音が再開されます。録音停止から録音再開までの間（2 秒程度）の内容は録音されません。

外部録音（外部入力 / マイク端子）設定について

本機の外部入力端子は、設定メニューの「外部入力設定」で「マイク」と「ライン」（ヘッドホン出力、ライン出力 : ポータブル、ライン出力 : コンポ）の切り換えができます。
☞外部入力設定（154 ページ）

■外部マイクを使用する場合

マイク表示

設定メニューの「外部入力設定」で「マイク」に設定します。画面の表示が「MIC」に切り換わります。
本機の外部入力端子に別売のステレオマイクを接続して録音してください。

・ 使用可能な外部マイクについては、「関連商品について」（☞ 198 ページ）を参照してください。市販の外部マイクを使用する場合は、下記仕様のマイクを推奨します。

推奨 :
- 形式：エレクトレットコンデンサー / プラグ イン パワー方式
- インピーダンス：2k Ω
- 電源：1.3V にて動作保証品
- プラグ：ミニプラグ（3.5 φ）

- 推奨品以外の外部マイクを使用された場合、正常に録音できないときがあります。
- 設定メニューの「指向性切替」を「ZOOM」に設定し、外部マイクを使用して録音すると、モノラル * で録音されます。（ICR-XPS03M のみ）
  * 録音モードが PCM の場合は、L チャンネルのみで録音した音が R チャンネルにコピーされます。

■他のオーディオ機器と接続する場合

ライン表示

設定メニューの「外部入力設定」で接続する機器にあわせて「ヘッドホン出力 / ライン出力 : ポータブル / ライン出力 : コンポ」のいずれかに設定します。画面の表示が「LINE」に切り換わります。

ヘッドホン出力	ライン出力 : ポータブル	ライン出力 : コンポ
▁▃▅	▁▃	▁

・ 録音シーンを利用すると、より簡単に設定することができます。（70 ページ）
・ 録音したファイルは、自動的に LINE（L）フォルダに保存されます。

内蔵マイクと外部マイクの切り換えについて（ICR-XPS03M のみ）

本機の外部入力 / マイク端子に外部ステレオマイクを接続して録音する場合、設定メニューの「指向性切替」の設定により、録音形式（ステレオ / モノラル）が変わります。
また、外部ステレオマイクで録音中にマイクを本機から取り外した場合は、「指向性切替」の設定の内蔵マイクに切り換わります。

●指向性切替の設定が「STEREO」または「STEREO WIDE」の場合
ステレオ（L/R）で録音されます。

●指向性切替の設定が「ZOOM」の場合
モノラル * で録音されます。
* PCM 録音の場合は、L/R が同じ音のステレオ形式で録音されます。

・ステレオ録音時（STEREO、STEREO WIDE）はレベルメーターが 2 本、モノラル録音時（ZOOM）はレベルメーターが 1 本表示されます。

知っておくと便利です

外部ステレオマイクを使用するときは指向性切替の設定を「STEREO」または「STEREO WIDE」に、外部モノラルマイクを使用するときは指向性切替の設定を「ZOOM」に設定してください。

録音シーンセレクト機能について

録音したいシーンを選ぶだけで、シーンに適した各種の録音設定（録音モード・マイク感度など）を一括で設定する機能です。あらかじめプリセットされている 4 つ（ICR-XPS01M は 3 つ）のマイク録音用のシーン設定と、3 つのライン録音用のシーン設定から選択することができます。各録音シーンの設定内容は以下の通りです。

■マイク録音用の設定

● ICR-XPS01M

プリセット	口述	会議・講義	音楽
	録音シーン ◀【口述】▶ MENU:編集 OK:決定	録音シーン ◀【会議・講義】▶ MENU:編集 OK:決定	録音シーン ◀【音楽】▶ MENU:編集 OK:決定
	インタビューや会話の録音などに最適な設定です。	会議など全方向からの音声を録音するのに最適な設定です。	楽器演奏や動物の声などを高音質で録音するのに最適な設定です。
録音モード	MP3: 64kbps	MP3: 192kbps	PCM: 44.1kHz
マイク感度	低	高	高
マイク ALC 設定	ON	ON	OFF
指向性切替	STEREO	STEREO	STEREO
LowCut フィルタ	ON	ON	OFF
録音ピークリミッター	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音	OFF	OFF	OFF
VAS 設定	OFF	OFF	OFF
外部入力設定	MIC	MIC	MIC
自動無音分割	OFF	OFF	OFF

● ICR-XPS03M

プリセット	口述	会議	講義	音楽
	インタビューや会話の録音などに最適な設定です。	会議など全方向からの音声を録音するのに最適な設定です。	講義など前方（一定方向）からの音声を録音するのに最適な設定です。	楽器演奏や動物の声などを高音質で録音するのに最適な設定です。
録音モード	MP3: 64kbps	MP3: 192kbps	MP3: 192kbps	PCM: 44.1kHz
マイク感度	低	高	高	高
マイク ALC 設定	ON	ON	ON	OFF
指向性切替	STEREO	STEREO	ZOOM（モノラル）	STEREO
LowCut フィルタ	ON	ON	ON	OFF
録音ピークリミッター	OFF	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音	OFF	OFF	OFF	OFF
VAS 設定	OFF	OFF	OFF	OFF
外部入力設定	MIC	MIC	MIC	MIC
自動無音分割	OFF	OFF	OFF	OFF

■ライン録音用の設定

● ICR-XPS01M/ICR-XPS03M

プリセット	ヘッドホン	ポータブル	コンポ
	録音シーン ◀【ヘッドホン】▶ MENU:編集 OK:決定	録音シーン ◀【ポータブル】▶ MENU:編集 OK:決定	録音シーン ◀【コンポ】▶ MENU:編集 OK:決定
	ヘッドホン出力端子と接続して録音するときの設定です。	ポータブル機器のライン出力端子と接続して録音するときの設定です。	コンポ、AV アンプなどのライン出力端子と接続する場合の設定です。
録音モード	MP3: 192kbps	MP3: 192kbps	MP3: 192kbps
マイク感度	高	高	高
マイク ALC 設定	ON	ON	ON
指向性切替	STEREO	STEREO	STEREO
LowCut フィルタ	OFF	OFF	OFF
録音ピークリミッター	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音	OFF	OFF	OFF
VAS 設定	OFF	OFF	OFF
外部入力設定	ヘッドホン出力	ライン出力 : ポータブル	ライン出力 : コンポ
自動無音分割	OFF	OFF	OFF

※画面は ICR-XPS01M を例として掲載しています。

- 録音モードやマイク感度など各種の録音設定は、設定メニューで個別に切り換えることもできます。（141 ページ）
- 録音シーンを設定した後、設定メニューで個別に録音設定を変更した場合、変更した内容以外は、録音シーンの設定が保持されます。（たとえば、録音シーンセレクト「口述」設定後、メニューでマイク感度を「高」にした場合、マイク感度以外の設定は「口述」シーンのプリセットの内容のまま保持されます。）
- 各プリセットの設定内容は、お好みに応じて変更し、登録することができます。（159 ページ）

録音シーンを選択する

1 本機の電源を入れる

☞ **電源を入れる（44 ページ）**

2 RECORD モードに切り換える

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

3 シーン / 操作案内ボタン（♪）を押す

現在、選択されている録音シーンが表示されます。

- お買い上げ時や録音シーンを設定していない場合は、初期値として「口述」が選択されています。

4 ⏮ / ⏭にタッチして、お好みの録音シーンを選択する

- 録音シーン選択中に MENU にタッチすると、選択中の録音シーンの録音設定が確認できます。

5 ▶にタッチする

選択した録音シーンが設定され、基本画面に戻ります。

- 設定した録音シーンアイコンが画面に表示されます。

OFF	なし	音楽	
口述		ヘッドホン	
会議 *1 会議・講義 *2		ポータブル	
講義 *1		コンポ	

*1 ICR-XPS03M の場合　*2 ICR-XPS01M の場合

録音シーンアイコン

録音する

本機の内蔵マイクで録音します。
録音シーンセレクトで「音楽」を選択した場合や、ALC を「OFF」に設定している場合は、録音する内容や音の大きさに合わせて、手動で録音レベルを調節して録音します。

1 **本機の電源を入れる**

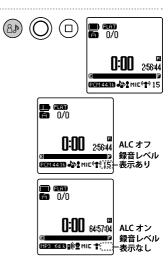
☞ **電源を入れる（44 ページ）**

2 **録音するフォルダを選択する**

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

3 **録音シーンを選択する**

☞ **録音シーンを選択する（70 ページ）**

- 「音楽」を選択、または ALC を「OFF」に設定している場合は手順4に進み、録音レベルの調整を行なってください。
  （画面右下に数字が表示されている場合は、ALC がオフに設定されています。）
- 「音楽」以外を選択、または ALC を「ON」に設定している場合は録音レベルの調整は不要です。手順5に進んでください。

4 録音レベルを調整する（録音シーンの設定が「音楽」、または ALC 設定が「OFF」の場合のみ）

以下の手順で録音レベルの調整を行なってください。

①録音ボタン（○）を押す

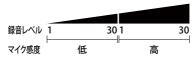
録音スタンバイ画面が表示されます。

- この状態ではまだ録音を行っていません。
- ヘッドホンから、録音する音声をモニターすることができます。音量は＋ / －で調整できます。

②楽器演奏などを録音する場合は、マイクに向かって実際に録音する音を鳴らす

レベルメーターが左右に振れます。レベルメーターが右に振れるほど、大きな音で集音していることを表します。

③ ⏮ / ⏭ にタッチして、録音レベルを調整する

- 録音レベル表示が 0 から 30 の範囲で調整できます。録音レベルはマイク感度ごとに設定できます。録音レベル 0 の場合は無音が録音されます。

（次ページにつづく）

・LED ランプが早く点灯しない範囲で、できるだけ大きく集音する（レベルメーターが右に振れる）ように ▶▶I にタッチして録音レベルを上げてください。

・LED ランプが早く点滅した場合は、LED ランプが消えるところまで I◀◀ にタッチして録音レベルを少し下げてください。

・録音レベルを 1 まで下げても LED ランプが点灯する場合は、マイク感度を「低」に設定してください。
録音レベルを 30 まで上げてもレベルメーターが適切な録音レベルに達しない場合は、マイク感度を「高」に設定してください。
☞ **マイク感度（149 ページ）**

・適切な録音レベルは、録音したい音が最も大きくなった場合でも、レベルメーターが右に振り切れることなく LED ランプが早い点滅にならない状態です。

・目安としてレベルの数値が -6 あたりを指すように調整することを推奨します。LED ランプが早く点滅した時は、入力レベルが高すぎて音が歪んで録音されます。

※メニュー設定で、LED ランプが「OFF」に設定されている場合は、LED ランプは点灯しません。
☞ **LED 設定（165 ページ）**

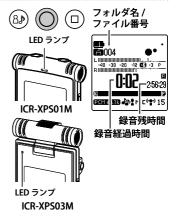
適切な録音レベル

録音スタンバイ
0:00
3:05:38
PCM 44.1k MIC 15

録音する

5 録音ボタン（○）を押す

LED ランプが点灯し、録音を開始します。

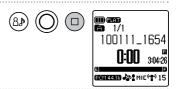
・ 録音中は、本機をさわったり、動かしたりしないでください。接触音が録音されます。

・ 録音中に録音ボタン（○）を押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。

・ 録音中にインデックスをつけることができます。

☞ インデックスを付ける（95 ページ）

・ 手順**2**で設定したフォルダに録音ファイルが保存されます。

6 停止ボタン（□）を押す

LED ランプが消灯し、録音を終了して基本画面に戻ります。

録音 EQ を設定する

録音 EQ 機能を使用することにより、低音域を強調して録音したり、中音域を強調して録音するなど、お好みの音質で録音することができます。

- 録音 EQ はマイク録音（A ～ D フォルダへの録音）の場合に設定できます。
- 録音 EQ は録音スタンバイ状態（録音シーンセレクトで「音楽」を選択時、またはメニューで ALC を「OFF」に設定時）でのみ設定可能です。

☞ **録音する（71 ページ）**

プリセット録音 EQ について

あらかじめプリセットされている「FLAT」、「SUPER BASS」、「BASS」、「MIDDLE」、「BASS&TREBLE」、「TREBLE」、「SUPER TREBLE」の 7 種類の録音 EQ と、5 バンドの録音レベルを自由に設定できる「USER」から選択することができます。
プリセット録音 EQ の特徴は、以下のとおりです。

FLAT	SUPER BASS	BASS	MIDDLE	BASS&TREBLE	TREBLE	SUPER TREBLE
特定音域の強調をせずに録音します。	低音域をより強調して録音します。	低音域をやや強調して録音します。	中音域を強調して録音します。	低音域と高音域をやや強調して録音します。	高音域をやや強調して録音します。	高音域をより強調して録音します。

- 「USER」の出荷時の設定は、「FLAT」と同様です。
- プリセットされている 7 種類の録音 EQ モードは、設定内容の変更（調整）はできません。細かい設定内容の変更を行いたい場合は、「USER」を選択してください。

  ☞ **録音 EQ をお好みの音質に設定する（78 ページ）**

プリセット録音 EQ 設定のしかた

1 本機の電源を入れる

☞ **電源を入れる（44 ページ）**

2 RECORD モードに切り換える

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

3 マイク ALC の設定を「OFF」に切り換える、または録音シーンセレクトで「音楽」を選択する。

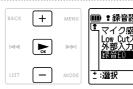
☞ **マイク ALC 設定（150 ページ）**

4 録音ボタン（◯）を押す

録音スタンバイ画面が表示されます。

5 MENU にタッチする

録音設定画面が表示されます。

6 ＋ / －にタッチして［録音 EQ］を選択し、▶OKにタッチする

7 ⏮ / ⏭にタッチして録音 EQ モードを選択し、▶OKにタッチする

選択した録音 EQ に設定され、録音設定画面に戻ります。

7 つのプリセット録音 EQ と、自由に設定を変更できる「USER」から選択できます。

- 「USER」を選択した場合は、「録音 EQ をお好みの音質に設定する」(☞ 78 ページ) を参照の上、設定してください。

8 MENU にタッチする

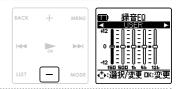
録音スタンバイ画面に戻ります。

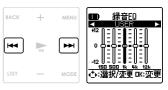
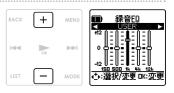
- 録音レベルを調整した後、もう一度録音ボタン（○）を押すと、録音が開始されます。
- 録音 EQ 設定中にキャンセルして戻るには、停止ボタン（□）を押します。

- 録音 EQ の設定は、本機の電源を切る、または本機の電源を切った状態で電池の交換を行っても保存されます。ただし、電源を切らずに電池の交換を行った場合は、設定は保存されません。

録音 EQ をお好みの音質に設定する（USER 選択時のみ）

録音 EQ で「USER」を選択している場合、録音 EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定することができます。

1 **録音 EQ 設定で「USER」を選択する**
☞ **プリセット録音 EQ 設定のしかた（76 ページ）**

2 **－にタッチする**
150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。

3 **⏮ / ⏭にタッチして、変更したい周波数帯を選ぶ**
選択している周波数帯が黒色バー表示になります。
- 「150H z」、「500H z」、「1k H z」、「4kHz」、「12kHz」の周波数帯の調整ができます。

4 **＋ / －にタッチして、選択した周波数帯のレベルを調整する**
－ 12dB ～ 12dB（25 段階）まで、 1 dB ごとに調整できます。dB の数字が大きいほど強調されます。
- ＋にタッチするとレベルが大きくなります。
- －にタッチするとレベルが小さくなります。
- 他の周波数を変更する場合は手順3と手順4の操作を繰り返してください。
- 途中で設定を中止するときは、停止ボタン（□）を押してください。手順1の画面に戻ります。

5 ▶にタッチする

「USER」の設定を完了し、「録音設定」画面に戻ります。

6 MENU にタッチする

録音スタンバイ画面に戻ります。

- 設定途中で停止ボタン（□）を２回押すと録音スタンバイ画面に戻ります。
- 録音 EQ の「USER」設定は本機の電源を切ったり、電池の交換を行ったりしても保存されます。ただし、電源を切らずに電池の交換を行った場合は、設定は保存されません。

外部機器から録音する

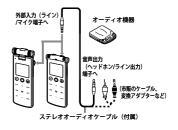
1 本機の電源を入れる

☞ **電源を入れる（44 ページ）**

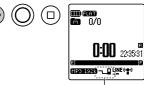
2 RECORD モードに切り換える

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

3 本機の外部入力（ライン）/ マイク端子と外部機器の音声出力端子（ヘッドホン出力 / ライン出力）を付属のステレオオーディオケーブルでつなぐ

・ 機器によって出力端子の形状が付属のオーディオケーブルと異なる場合があります。その場合は別途、変換アダプター・変換ケーブルをご用意ください。

4 録音シーンを、音声出力先の機器に合わせて「コンポ」、「ポータブル」、「ヘッドホン」のいずれかに切り換える

☞ **録音シーンを選択する（70 ページ）**

・ 設定した録音シーンのアイコンが画面に表示されます。

5 本機の録音ボタン（○）を押す

- 録音スタンバイ画面が表示され、入力音量にあわせてレベルメーターが左右に振れます。この画面ではまだ録音は開始されていませんので、外部機器の再生を開始し、音量を調整してください。音量の調整は、録音したい音が最も大きくなった場合でも、PEAK（ピーク）表示されない範囲でレベルメーターが中央より右に振れるよう * 調整してください。

  * レベルメーターの "-6db" 付近を推奨します。

6 もう一度、本機の録音ボタン（○）を押す

録音が開始されます。

- 自動的に LINE（L）フォルダに録音されます。

7 外部機器の再生を停止し、停止ボタン（□）を押して録音を停止する

録音する

自動無音分割を設定する

CD や MD プレーヤーなどからライン入力で音楽を録音するときに自動無音分割を設定すると、2 秒以上の無音部分を感知して、録音を一時停止し、1 曲目をファイル 1、2 曲目をファイル 2 というように自動的にファイルを分割して録音します。

・ ライン入力の MP3 録音時のみ有効です。

1 本機の電源を入れる

☞ **電源を入れる（44 ページ）**

2 RECORD モードに切り換える

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

3 MENU にタッチする

メニュー画面が表示されます。

4 ＋ / －にタッチして［録音設定］を選択し、▶にタッチする

「録音設定」画面が表示されます。

5 ＋ / －にタッチして［自動無音分割］を選択し、▶にタッチする

「自動無音分割」設定画面が表示されます。

6 ＋ / －にタッチして［ON］または［OFF］を選択し、▶OKにタッチする

OFF：自動無音分割を設定しません。

ON（自動停止）：

2 秒の無音を検知したときに自動無音分割機能が働きます。
無音状態が 2 秒以上続いたときは一時停止状態で待機し、音声を感知したときに録音を再開します。
無音状態が 15 秒以上続いたときは録音を終了します。

ON（手動停止）：

2 秒の無音を検知したときに自動無音分割機能が働きます。
無音状態が 2 秒以上続いたときは一時停止状態で待機し、音声を感知したときに録音を再開します。
無音状態が 15 秒以上続いたときも一時停止状態のまま待機し、 停止ボタンを押すまで録音を終了しません。

- 自動停止は CD からライン録音する場合に効果的です。手動停止は、カセットテープからライン録音するとき、A 面⇒ B 面の切換時に 15 秒以上の無音がある場合にも一時停止のまま待機するので、効果的に使うことができます。
- ライブ盤 CD のようにトラック間に 2 秒以上の無音がない場合や、ノイズ・駆動音の激しいカセットテープからの録音では、無音を検知できないため自動無音分割機能が働かない場合があります。

MENU にタッチしてメニューを終了する

- 自動無音分割を「ON」に設定すると、画面に[AD]が表示されます。

再生する

再生の基本操作

停止ボタン
再生を停止します。
停止中に押すと、表示情報を
切り換えることができます。
☞ **表示情報を切り換える**
（62 ページ）

ボタン	説明
►OK	再生を開始します。 再生中にタッチすると、⏮ / ⏭ で再生速度の調整ができます。
⏮ ⏭	ファイルの早送り / 早戻しやファイルの頭出しができます。
＋ －	再生中の音量を調整します。 ＋ : 音量が大きくなります。 － : 音量が小さくなります。
MENU	再生中にタッチすると、再生メニューを表示します。 リスト画面でプレイリストを選択中に押すと、プレイリスト編集画面を表示します。
LIST	リスト画面と基本画面を切り換えます。 再生中にタッチすると、A-B リピート再生を設定します。
BACK	再生中にタッチすると、あらかじめ設定した秒数の位置に戻り再生します。（センテンス再生）
MODE	再生中にタッチすると、再生中のファイルにインデックスをつけることができます。（MIC_A ～ D、FM フォルダ）

ファイルを再生する

本機で録音したファイルおよび MUSIC ファイルを再生します。

1 **本機の電源を入れる**

☞ **電源を入れる（44 ページ）**

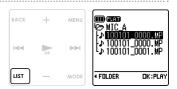
2 **再生したいファイルのあるフォルダを選択する**

MIC_A ～ D: マイク録音したファイルのフォルダ
LINE: ライン録音したファイルのフォルダ
FM: FM 放送を録音したファイルのフォルダ
MUSIC: パソコンから取り込んだファイルのフォルダ
P1 ～ P5: M フォルダ内に用意されているプレイリストファイルのフォルダ
RECYCLE: ゴミ箱フォルダ

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

・ RECORD モードの場合は手順3へ、MUSIC フォルダの場合は手順4へ進んでください。

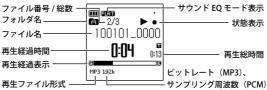
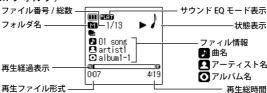
3 **LIST にタッチする**

リスト画面が表示されます。

4 **＋ / －にタッチし、再生するファイルを選択する**

5 ►にタッチする

基本画面に戻りファイルが再生されます。

- ファイルによっては、再生経過時間と実際の経過時間が異なる場合があります。
- ファイルによっては登録されたアーティスト名や曲名などが表示されないことがあります。
- 再生中､長い曲ファイル名はスクロール表示します。

● MIC_A ～ D（A ～ D）、LINE（L）、FM

● MUSIC（M フォルダ）

6 停止ボタン（□）を押す

再生を停止し、基本画面に戻ります。

早送りをするには

再生中、▶▶| に 1 秒以上タッチし続けると早送りが始まります。早送り開始後は、指を離しても早送りは継続されます。
通常の再生速度に戻すには▶OKにタッチします。

早戻しをするには

再生中、|◀◀ に 1 秒以上タッチし続けると早戻しが始まります。早戻し開始後は、指を離しても早戻しは継続されます。
通常の再生速度に戻すには▶OKにタッチします。

ファイルの頭出し（ファイル送り / ファイル戻し）をするには

再生中 * または停止中に ▶▶| にポンと 1 回タッチするごとにファイル送りします。
|◀◀ にポンと 1 回タッチするごとにファイル戻しします。
* タイムスキップ設定時は、タイムスキップ機能がはたらきます。

タイムスキップ（送り / 戻し）をするには

タイムスキップ機能を設定した状態で、再生中に |◀◀ または ▶▶| にポンと 1 回タッチするごとに、設定された時間の間隔だけタイムスキップします。

☞ **タイムスキップ（156 ページ）**

- 設定したタイムスキップより近い位置に、ファイルの頭出し位置やインデックスマークがある場合は、その位置にタイムスキップします。
- タイムスキップ設定中に、ファイル送り / 戻しするには、一度ファイルの再生を停止してから |◀◀ または ▶▶| にポンと一回タッチします。

再生に関する機能と設定

本機は、語学学習や会議録音の再生などに効果的に使える様々な機能を搭載しています。詳しくは、下記ページを参照してください。

機能	効果	設定内容
早聞き / 遅聞き **☞（89 ページ）**	再生スピードを早くしたり、遅くしたりすることができます。聞き取りにくい音声は遅く、早く聞きたい場合は早くすることで、便利に使うことができます。 （PCM 録音ファイルは、早聞き / 遅聞き機能は使えません。）	MP3: 50 ～ 200% WMA: 50 ～ 120%
時間指定サーチ **☞（92 ページ）**	ファイルの指定した再生位置にスキップして、再生することができます。	―
A-B リピート **☞（91 ページ）**	再生中のファイルの一部分（A 点と B 点）を指定し、繰返し聞くことができます。	―
センテンス再生 **☞（90 ページ）**	再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生する機能です。音楽の短いフレーズや、語学学習などで聞き逃した場合にワンボタンで戻ることができます。	1 ～ 5 秒
タイムスキップ **☞（87、156 ページ）**	再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけスキップし、再生することができます。	OFF、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、15 分
リピートモード **☞（155 ページ）**	ファイルのリピートモードを設定することができます。	OFF、1 曲、フォルダ、フォルダ内ランダム、全曲、全曲ランダム
サウンド EQ **☞（157 ページ）**	お好みの音質で再生することができます。 サウンド EQ はステレオイヤホンでの再生時のみ有効となります。	FLAT、BASS、POP、ROCK、JAZZ、CLEAR VOICE、USER
インデックス機能 **☞（95 ページ）**	インデックスマークをつけることで、後で聞くときに素早く頭出しができます。（ミュージック（M）/ ライン（L）/ ゴミ箱（🗑）フォルダでは使用できません。）	―

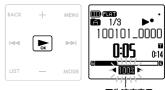
早聞き / 遅聞き機能

語学学習や楽器演奏での聞き取りにくい箇所は再生スピードを遅く、会議の内容は早くといったように、必要に応じて再生スピードを調節して聞くことができます。音声はデジタルで自動調節され、音程が変わることなく聞くことができます。

・ PCM 録音ファイルは、早聞き / 遅聞き機能は使えません

1 再生中に▶OKにタッチする

再生速度が表示されます。

・ 設定中に停止ボタンを押すと 100%に戻ります。

2 再生スピードを早くしたいときは、▶▶|にタッチする

ボタンを押すごとに再生スピードが早くなります。

再生スピードを遅くしたいときは、|◀◀にタッチする

ボタンを押すごとに再生スピードが遅くなります。

・ 早聞きは 10%ごとに、遅聞きは 5%ごとに段階的に再生スピードを切り換えることができます。

	標準	S▶遅聞き	F▶▶早聞き
MP3	100%	50%から 100%までは 5%ごと	100%から 200%までは 10%ごと
WMA	100%	50%から 100%までは 5%ごと	100%から 120%までは 10%ごと

3 ▶OKにタッチする

再生中画面に戻ります。

- 電源をオフにすると 100%の再生スピードに戻ります。

センテンス（少し戻り）再生を行う

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生できる機能です。音楽の短いフレーズや、重要な音声を聞き逃したときなどに便利です。

再生中に BACK にタッチする

あらかじめ設定した秒数の位置に戻って再生します。

☞ **センテンス再生（156 ページ）**

- もう一度戻して聞きたい場合は、もう一度センテンス再生ボタンを押します。
- A-B リピートを行っている場合は A-B リピート設定区間内でセンテンス再生を行います。
- 戻す秒数が、現在の再生位置より長い場合はファイルの最初から再生を行います。
- 最大で、再生中ファイルの先頭まで戻りますが、ファイルをまたいで（1 つ前のファイルに）戻ることはありません。

A-B リピート（部分リピート）再生を行う

再生中のファイルの一部分（A 点から B 点まで）を指定し、繰り返し再生することができます。

1 **A-B リピートを行うファイルを再生する**
☞ ファイルを再生する（85 ページ）

2 **A-B リピート再生の開始位置で LIST にタッチする**
開始位置表示が点灯します。

3 **A-B リピート再生の終了位置で LIST にタッチする**
A-B リピート再生を解除するまで繰り返し再生します。

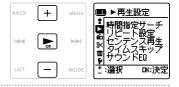
- A-B リピート再生中に次の操作を行うと A-B リピートが解除されます。
  - もう一度 LIST にタッチする
  - 停止ボタン（□）を押す
  - ⏮ / ⏭にタッチする
- A-B リピート再生中にも、再生スピードの変更（☞ 89 ページ）をしたり、インデックス（☞ 95 ページ）をつけたり、センテンス再生（☞ 90 ページ）を行ったりすることができます。
- A 点と B 点の間隔が短すぎる場合、A-B リピートの設定ができません。
- A 点を設定後、B 点を設定しなかった場合、そのファイルの末尾が B 点になります。
- ファイルをまたいでの A-B リピートはできません。

時間指定サーチを行う

ファイルの再生位置を時間指定し、指定した位置から再生することができます。

1 **本機の電源を入れ、RECORD モードまたは MUSIC モードで、MENU にタッチする**

- 停止中に MENU にタッチした場合は手順**2**へ、再生中に MENU にタッチした場合は手順**3**へ進んでください。

2 **＋ / －にタッチして［▶ 再生設定］を選択し、▶OKにタッチする**

「再生設定」画面が表示されます。

3 **＋ / －にタッチして［時間指定サーチ］を選択し、▶OKにタッチする**

「時間指定サーチ」設定画面が表示されます。

4 **現時間を指定する**

⏮ / ⏭ で変更する時間（H）、分（M）、秒（S）を選択します。

＋ / −にタッチするごとに数値が変更します。

00:00:00 ～ 99:59:59
時 分 秒

5 **▶OKにタッチする**

指定した位置にスキップし、ファイルが再生されます。

・ 時間指定サーチは選択中のファイルでのみ行なうことができます。

MUSIC モードでの再生について

MUSIC（M）フォルダはパソコンから MP3、WMA および本機で録音した WAV ファイルを取り込んで再生するフォルダです。MUSIC（M）フォルダの中にお好みのフォルダを作成し、その中にファイルを転送して再生することもできます。

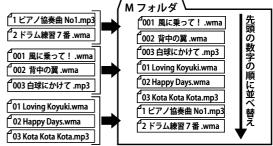
☞ **Windows Media Player で音楽ファイルを転送する（189 ページ）**

■ MYLIST1 ～ 5 ファイルについて

・ MUSIC フォルダには、あらかじめ 5 つのプレイリスト用ファイル（MYLIST1 ～ 5）が用意されています。MUSIC フォルダ内のファイルを各 MYLIST に登録することで、お好きな順番で再生することができます。

☞ **プレイリスト機能（MUSIC フォルダのみ）（101 ページ）**

■ MUSIC フォルダのソート（並べ替え）について

MUSIC フォルダでは、フォルダ内にあるファイルのファイル名の先頭の数字によって、昇順（小さい順）に自動で並べ替えられます。先頭の数字が「001 ～」、「01 ～」、「1 ～」と混在している場合は、「001 ～」が最も優先され、次に「01 ～」、「1 ～」の順に並べ替えられます。

フォルダスキップ機能

1 **MUSIC モードでファイルを再生中にシーンボタン（♪）を押す**

フォルダスキップモードになります。

2 **⏮ / ⏭ にタッチして再生したいフォルダを選択する**

タッチするごとに各フォルダの先頭のファイルに切り換わります。

3 **フォルダスキップを解除して再生する場合は、シーンボタン（♪）を押す、または▶OKにタッチする**

・ フォルダスキップ中は、再生速度変更、A-B リピート、メニューなどの操作はできません。
・ 楽曲リスト 3000 曲を越えてのフォルダスキップはできません。

インデックスを付ける / 消去する

インデックスを付けると、再生時に頭出し操作ができるため、聞きたい位置をすばやくさがすことができます。

☞ **インデックス送り / インデックス戻しをするには（95 ページ）**

インデックスを付ける

- MUSIC（M）フォルダ、LINE（L）フォルダ、ゴミ箱（🗑）フォルダのファイルには、インデックスをつけることはできません。

録音中、録音一時停止中または再生中に、インデックスを付けたい位置で MODE にタッチする

「インデックス記録中」と表示され、インデックスが記録されます。

- インデックスを付けた後も、録音または再生は続きますので、同様の操作で別の箇所にインデックスをつけることができます。
- インデックスをつけたファイルをファイル分割するとインデックスは消去されます。
- インデックスは、最大 36 個までつけることができます。

インデックス送り / インデックス戻しをするには

インデックスを付けたファイルの再生中 *1 ▶▶| にポンと 1 回タッチするごとに次のインデックスに送ります。|◀◀ にポンと 1 回タッチするごとに前のインデックスに戻ります。

*1 タイムスキップ設定時は、タイムスキップ機能がはたらきます。

☞ **タイムスキップ（送り / 戻し）をするには（87 ページ）**
☞ **タイムスキップ（156 ページ）**

インデックスを消去する

1 本機の電源を入れる

☞ **電源を入れる（44 ページ）**

2 インデックスを消去するファイルがあるフォルダを選択する

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

3 MENU にタッチする

メニュー画面が表示されます。

4 ＋ / －にタッチして［ 消去設定］を選択し、 にタッチする

「消去設定」画面が表示されます。

5 ＋ / －にタッチして［インデックス］を選択し、 にタッチする

リスト画面が表示されます。

6 ＋ / －にタッチしてインデックスを消去するファイルを選択し、▶にタッチする

7 ⏮ / ⏭にタッチして［実行］を選択する

- インデックスの消去を中止する場合は、［取消］を選択してください。

8 ▶にタッチする

「消去実行中」と表示された後、インデックスが消去され、基本画面に戻ります。

- インデックスを消去しても音声は消去されません。
- ファイル内に複数のインデックスが付けられている場合であっても、インデックスを個別に消去することはできません。ファイル内のインデックスはすべて一括で消去されます。

編集する

録音したファイルを分割する

本機で録音した 1 つのファイルを 2 つに分割することにより、不要部分のカットや必要部分を抜き出すことができます。

- MUSIC（M）フォルダ、ゴミ箱（🗑）フォルダのファイルは、分割できません。
- ファイル分割するには、microSD カードの空き容量が必要です。
- フォルダがいっぱいのときは、ファイル分割できません。

1 分割したいファイルを再生します

☞ファイルを再生する（85 ページ）

2 分割したい場所で停止ボタン（□）を押す

3 MENU にタッチする

メニュー画面が表示されます。

4 **＋ / －にタッチして［ ✂ 編集設定］を選択し、▶OKにタッチする**

「編集設定」画面が表示されます。

5 **＋ / －にタッチして［ファイル分割］を選択し、▶OKにタッチする**

「ファイル分割」画面が表示されます。

6 **⏮ / ⏭にタッチして、［実行］を選択する**

- ファイルの分割を中止する場合は、［取消］を選択してください。

7 **▶OKにタッチする**

「ファイル分割 実行中」→「ファイル分割 完了 !」と表示され、ファイルが分割されます。

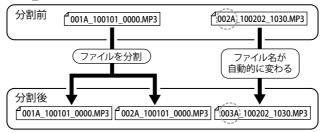
- 分割中は LED ランプが点滅します。
- ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが 1 つ増えます。
- インデックスをつけたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。
- ファイル分割した際、指定した場所から前後にずれが生じる場合があります。

ファイル分割

ファイル分割
完了 !

・ microSD カードの空き容量がない場合や、すでに 199 ファイル録音されているフォルダでは、ファイル分割できません。

■ファイル分割のしくみと分割後のファイル名の付き方

例：001A_100101_0000.MP3 ファイルを分割する。

001A_100101_0000.MP3 のファイルを分割すると、002A_100101_0000.MP3 のファイルが作成されます。ただし、フォルダ内に同じファイル番号のファイルが存在する場合は、分割後のファイルが優先され、もともとあったファイルのファイル番号が変更になります。例えば、ファイル名 001A_100101_0000.MP3 を分割すると 001A_100101_0000.MP3 と 002A_100101_0000.MP3 が作成され、フォルダ内に先に存在していた 002A_100202_1030.MP3 は 003A_100202_1030.MP3 にファイル番号が変更されます。

・ 分割した部分が前後のファイルで重複します。重複する時間と分割に必要なファイルの録音時間は下表の通りです。

録音モード		重複する時間	ファイル録音時間
MP3	32kbps	約 8 秒	約 16 秒以上
	64kbps	約 4 秒	約 8 秒以上
	128kbps	約 2 秒	約 4 秒以上
	192kbps	約 1 秒以下	約 2 秒以上
	320kbps		
PCM	44.1kHz		

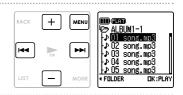
プレイリスト機能（MUSIC フォルダのみ）

本機にはあらかじめ MUSIC（M）フォルダ内に本機で編集できる 5 つのプレイリストファイル（MYLIST1 ～ 5.M3U）が用意されています。MUSIC（M）フォルダ内のお好みの曲を、お好みの順番で再生することができます。

- プレイリストに登録できるのは、MUSIC（M）フォルダ内のファイルのみです。
- MYLIST1 ～ 5 は削除することはできません。
- MYLIST はパソコンで編集しないでください。
- 1 つの MYLIST につき、99 ファイルが登録できます。

プレイリスト（MYLIST）にファイルやフォルダを登録する

1 **MUSIC（M）フォルダを選択する**
☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

2 **＋ / －、⏮ / ⏭にタッチしてプレイリストへ登録したいファイルまたはフォルダを選択し、MENU にタッチする**
「マイリストへ追加」画面が表示されます。

3 **⏮ / ⏭にタッチして、登録したいプレイリスト（MYLIST1 ～ 5 のいずれか）を選択し、▶OKにタッチする**
選択したプレイリストにファイルまたはフォルダが登録されます。

プレイリスト（MYLIST）の再生順を変更する

プレイリストに登録されているファイルの再生順を変更します。

1 再生順を変更したいプレイリスト（P1 ～ P5）を選択する

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

選択したプレイリストがリスト表示されます。

2 ＋ / －にタッチして再生順を変更したいファイルを選択し、MENU にタッチする

「マイリスト編集」画面が表示されます。

3 ＋ / －にタッチして［曲順変更］を選択し、▶にタッチする

4 ＋ / －にタッチして選択したファイルを再生したい順番の位置に移動する

選択中のファイルのアイコンが➡に変わります。

5 ►にタッチする

プレイリストの再生順が変更されます。

プレイリスト（MYLIST）のファイルを 1 件消去する

プレイリストに登録されているファイルの登録を消去します。

・ プレイリスト内のファイルを消去しても、元となるファイルは消去されません。

1 1 件消去したいファィルが登録されているプレイリスト（P1 ～ P5）を選択する

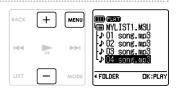
☞ **動作モード / フォォルダを切り換える（39 ページ）**

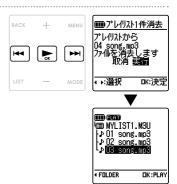
選択したプレイリストがリスト表示されます。

2 ＋ / －にタッチして消去したいファイルを選択し、MENU にタッチする

・ ここでは「04 song.mp3」を消去します。

3 ＋ / －にタッチして［消去］を選択し、►にタッチする

編集する

4 ⏮ / ⏭にタッチして［実行］を選択し、▶(OK)にタッチする

選択したファイルがプレイリストから消去されます。

プレイリスト（MYLIST）のファイルを全件消去する

プレイリストに登録されている全てのファイルの登録を消去します。

- プレイリスト内のファイルを消去しても、元となるファイルは消去されません。

1 全ての登録ファイルを消去したいプレイリスト（P1 ～ P5）を選択する

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

選択したプレイリストがリスト表示されます。

2 MENU にタッチする

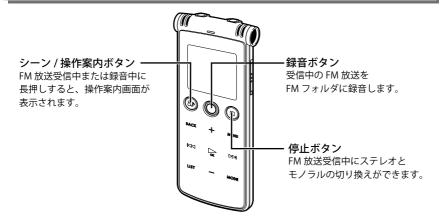
「マイリスト編集」画面が表示されます。

3 ＋ / －にタッチして［一括消去］を選択し、▶OKにタッチする

4 ⏮ / ⏭にタッチして［実行］を選択し、▶OKにタッチする

プレイリスト内の全てのファイルがプレイリストから消去され、“No File” と表示されます。

FM ラジオを使う

FM ラジオの基本操作

ボタン	機能
▶OK	プリセットモードと周波数選局モードを切り換えます。
⏮ ⏭	プリセットチャンネルや周波数を切り換えて選局します。
＋ －	ラジオの音量を調整します。 ＋ : 音量が大きくなります。 － : 音量が小さくなります。
MODE	モード選択画面が表示されます。 FM 放送録音中は、インデックスをつけることができます。
LIST	受信中にタッチすると、プリセット編集画面が表示されます。
MENU	受信中にタッチすると、FM メニュー画面が表示されます。

FM ラジオを聞く

本機で FM 放送を受信します。

1 本機の電源を入れる
☞電源を入れる（44 ページ）

2 ヘッドホン端子にステレオイヤホンを接続する

3 FM RADIO モードに切り換える
☞動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）

4 ⏮ / ⏭にタッチして、聞きたい放送局を選択する
☞ラジオ放送の選局について（109 ページ）

■ラジオ音声の出力先を設定する

ラジオ放送の音声を、ステレオイヤホン接続時もスピーカーから出力することができます。
☞出力設定（163 ページ）

ご注意

■ラジオの受信について

- ヘッドホンがアンテナの役目となりますので、必ず付属のステレオイヤホンを本機のヘッドホン端子に接続してください。また、ステレオイヤホンのコードはできるだけ長く伸ばした状態でお使いください。マルチクレードルをご使用の場合、マルチクレードルのヘッドホン端子にステレオイヤホンを接続してください。
- テレビの近くで聞いていると、テレビに色ずれが生じたり、本機にテレビの雑音が入ることがあります。本機をテレビから離してご使用ください。
- FM 文字放送には対応していません。
- FM 放送受信時、受信状態によって雑音で聞こえにくい場合は、ラジオ設定メニューの「FM モード」の設定を［モノラル］に設定すると、受信状態に関わらず常にモノラル音声になるため、聞きやすくなる場合があります。
☞ステレオ / モノラル切替（164 ページ）

ラジオ放送の選局について

本機では、下記の方法で選局ができます。

● プリセット選局モード

あらかじめエリアバンド設定やオートプリセットなどを行なって登録した放送局を選局するときに使います。

☞**お使いになる地域を設定する（60 ページ）**
☞**オートプリセットを使う（163 ページ）**

● 周波数選局モード

周波数を切り換えながら、受信したい放送局を選局するときに使います。電波の強い放送局を自動で探し出す自動選局（オートスキャン）、手動で周波数を切り換える手動選局（マニュアルチューニング）2 通りの方法で選局することができます。

知っておくと便利です

■受信可能な放送局を自動で登録する（オートプリセット）

現在、本機で聞くことのできる FM 電波の強い放送局を、メニュー設定「エリアバンド」の「ユーザー」にプリセットします。

☞**オートプリセット（163 ページ）**

登録されている放送局から選局する（プリセット選局）

1 **本機の電源を入れる**

☞**電源を入れる（44 ページ）**

2 **FM RADIO モードに切り換える**

☞　**動作モード / フォルダを切り換える（39ページ）**

3 **▶ OK にタッチしてプリセット選局モードに切り換える**

- タッチするごとに、プリセット選局モード⇔周波数選局モードが切り換わります。
- プリセット選局モードに切り換えると画面にチャンネルが表示されます。

4 **⏮ / ⏭ にタッチしてチャンネルを切り換える**

- タッチするごとに、現在登録されている放送局（最大 20 チャンネル）が、順に切り換わります。

周波数を切り換えて選局する（周波数選局）

聞きたい放送局が登録されていない場合など、周波数を切り換えて選局します。

1 本機の電源を入れる

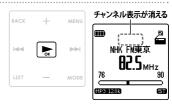
☞ **電源を入れる（44 ページ）**

2 FM RADIO モードに切り換える

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39ページ）**

3 ▶OK にタッチして周波数選局モードに切り換える

- タッチするごとに、プリセット選局モード⇔周波数選局モードが切り換わります。
- 周波数選局モードに切り換えると画面のチャンネル表示が消えます。

4 ⏮ / ⏭ にタッチして周波数を選択する

●**手動選局**

タッチするごと（単押し）に 0.1MHz ステップで周波数が進み（戻り）ます。

●自動選局

2 秒以上タッチすると画面に「サーチ中…」と表示され、周波数が自動的に進み（戻り）、放送局を受信すると自動で停止します。

- 電波が弱く受信状態がよくない場合は、自動で停止しません。
- 周囲に妨害電波などがある場合は、妨害電波を受信して停止することがあります。

放送局を登録 / 削除する

放送局を登録する

受信中の放送局をお好みのチャンネル（最大 20 チャンネル）に登録することができます。
登録した放送局は、プリセット選局モードで選局することができます。

1 登録したい放送局を選局する

☞ **登録されている放送局から選局する（プリセット選局）（110 ページ）**

☞ **周波数を切り換えて選局する（周波数選局）（111 ページ）**

2 LIST にタッチする

プリセット編集画面が表示されます。

3 ＋ / －にタッチして［登録］を選択する

- 途中で中止する場合は［取消］を選択してください。

4 ►OKにタッチする

［REGISTER］が点滅し、チャンネルが表示されます。

5 ⏮ / ⏭にタッチして、登録するチャンネル（1 ～ 20）を選択する

- 登録を途中でやめる場合は、停止ボタン（□）を押してください。

6 ►OKにタッチする

- チャンネルに放送局が登録されます。
- 以前にチャンネルに登録されていた放送局は、上書きされます。

知っておくと便利です

- 本機ではエリアバンドの設定地域（地域 :7、ユーザー :1）ごとに、放送局を 20 局ずつ登録できます。

放送局を削除する

1 プリセット選局モードで、削除したい放送局を選局する

☞ 登録されている放送局から選局する（プリセット選局）（110 ページ）

2 LIST にタッチする

プリセット編集画面が表示されます。

3 ＋ / －にタッチして［削除］を選択する

- 途中で中止する場合は［取消］を選択してください。

4 ▶OK にタッチする

［DELETE］が点滅します。

5 **▶OK にタッチする**

選択した放送局が削除され、削除した次のチャンネルの放送局を受信します。(次の放送局がない場合は、チャンネル 1 に戻ります。)

プリセットを初期化する

変更や登録の追加、削除などを加えた「エリアバンド」の設定をもとの状態に戻します。

1 **初期化したいエリアバンドを選択する。**

☞ **お使いになる地域を設定する(60 ページ)**

2 **FM RADIO モードに切り換える**

☞ **動作モード / フォルダを切り換える(39ページ)**

3 **LIST にタッチする**

プリセット編集画面が表示されます。

FMラジオを使う

4 **＋/－にタッチして［プリセット初期化］を選択して▶OKにタッチする**

プリセット初期化画面が表示されます。

- ここではエリアバンド［東京］を選択しています。
- 途中で中止する場合は［取消］を選択してください。

5 **⏮/⏭にタッチして［実行］を選択する**

6 **▶OKにタッチする**

エリアバンドの設定が初期化され、チャンネル 1 の放送局を受信します。

ご注意

- プリセットの初期化は、地域ごとに行ってください。全ての地域を一度に初期化する場合は、メニューの初期化を行ってください。

☞ **メニュー初期化（167 ページ）**

FM ラジオ放送を録音する

本機で受信した FM ラジオ放送を、microSD カードに録音します。

1 録音したい放送局を選局する

☞ **登録されている放送局から選局する（プリセット選局）（110 ページ）**
☞ **周波数を切り換えて選局する（周波数選局）（111 ページ）**

2 録音ボタン（○）を押す

LED ランプが点灯し、受信中のラジオ音声の録音を開始します。

- 録音した音声は FM フォルダに保存されます。
- 録音中は放送局の変更はできません。
- 録音中に録音ボタン（○）を押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。
- 録音中に MODE にタッチすると、インデックスをつけることができます。
  ☞ **インデックスを付ける（95 ページ）**
- 設定メニューの「出力設定」の設定に合わせて、録音中にヘッドホンまたはスピーカーから、録音している音声をモニターすることができます。音量は＋ / －で調整できます。
  ☞ **出力設定（163 ページ）**

3 **停止ボタン（□）を押す**
LED ランプが消灯し、録音を終了して FM ラジオ放送受信画面に戻ります。

FM ラジオ放送録音時の録音モードについて

サンプリング周波数は、ノイズの影響を避けるため、放送局によって自動的に切り換わります（32/44.1/48/kHz のいずれか）。ただし、FM ラジオ放送録音時の録音モードは、MP3:128 kbps に固定されています。

知っておくと便利です

・ FM ラジオ放送録音時にノイズが多いときは、停止ボタン（□）を押して「FM モード」を「モノラル」に切り換えてください。

ST: ステレオ
MO: モノラル

受信環境によっては、録音中ラジオ放送にノイズが入る場合があります。また、電波の弱い場所では、耳でラジオ放送を聞いているときにはきれいに聞こえていても、録音するとノイズを拾ってしまうことがあるため、実際に試し録音を行い、もし電波が弱くノイズが入るようであれば、場所を移動するなどして、きれいに録音できる場所で録音してください。

☞ ステレオ / モノラル切替（164 ページ）

FMモード表示

タイマー機能を使う

タイマー予約を設定する

あらかじめ設定した時間に、マイク録音をしたり、ファイルの再生や BEEP 音を鳴らしたりすることができます。また放送を受信したり、録音したりすることができます。
タイマー予約設定は、録音と再生で一部手順が異なります。
設定前に電池の残量が充分にあることを確認し、カレンダー設定をしてください。
☞ **電池の残量について（45 ページ）**
☞ **カレンダー（日時）を設定する（58 ページ）**
タイマー設定を行うときやタイマー設定が正常に動作しない場合は、P127 の『ご注意』も併せてご確認ください。

1 本機の電源を入れる
☞ **電源を入れる（44 ページ）**

2 RECORD モードまたは MUSIC モードに切り換える
☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

3 停止中に MENU にタッチする
メニュー画面が表示されます。

4 ＋ / －にタッチして [共通設定] を選択し、▶にタッチする
「共通設定」画面が表示されます。

タイマー機能を使う

5 **＋ / －にタッチして [タイマー設定] を選択し、▶OKにタッチする**

「タイマー」画面が表示されます。

6 **＋ / －にタッチして設定する項目を選択し、▶OKにタッチする**

選択した項目の設定画面に移ります。各項目の設定方法は120ページ～127ページを参照ください。

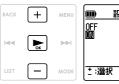
タイマー再生 / 録音共通の設定

■タイマーの ON/OFF の設定

① **＋ / －にタッチして [ON] または [OFF] を選択する**

OFF：タイマーを実行しません

ON：タイマーを実行します

② **▶OKにタッチする**

■繰返しの設定

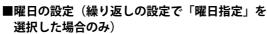
① **＋ / －にタッチして [1 回]、[毎日]、[曜日指定] を選択する**

1 回　　：指定時刻に一回だけ予約録音（再生）します

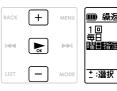
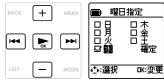
毎日　　：指定時刻に毎日予約録音（再生）します

曜日指定：指定した曜日の指定時刻に予約録音（再生）します

② **▶ にタッチする**

■曜日の設定（繰り返しの設定で「曜日指定」を選択した場合のみ）

① **＋ / －、⏮ / ⏭にタッチして希望の曜日を選択し、▶ にタッチしてチェックを入れる**

- 曜日は複数指定できます
- チェックを取り消す時はもう一度▶ にタッチします

② **＋ / －、⏮ / ⏭にタッチして [確定] を選択し、▶ にタッチする**

■開始時間の設定

① ⏮ / ⏭にタッチして開始時間の「時」:「分」を選択する

② ＋ / ーにタッチして数値を変更する

・ AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です

③ ▶OKにタッチする

■終了時間の設定

① ⏮ / ⏭にタッチして終了時間の「時」:「分」を選択する

② ＋ / ーにタッチして数値を変更する

・ AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です

・ 開始時間から終了時間までの設定可能時間は最大 12 時間です

③ ▶OKにタッチする

タイマー再生する場合は、「タイマー再生する場合の設定」に進んでください。

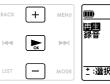
☞ **タイマー再生する場合の設定（123 ページ）**

タイマー録音する場合は、「タイマー録音する場合の設定」に進んでください。

☞ **タイマー録音する場合の設定（125 ページ）**

タイマー再生する場合の設定

■動作の設定

① ＋ / －にタッチして［再生］を選択する
② ▶OKにタッチする

■再生先の設定

タイマーの設定時刻に BEEP 音を鳴らす、FM 放送を受信する、またはファイルの再生を開始することができます。

BEEP：BEEP 音を鳴らします
ファイル再生：選択したファイルを再生します
FM：FM 放送を受信します

設定の手順は、選択する内容により異なります。

●タイマー設定時刻に BEEP 音を鳴らす場合

① ＋ / －にタッチして［BEEP］を選択する
② ▶OKにタッチする
「タイマー設定の完了」に進んでください。
☞ **タイマー設定の完了（127 ページ）**

タイマー機能を使う

●タイマー設定時刻にファイルを再生する場合

① ＋ / －にタッチして［ファイル再生］を選択し、▶にタッチする

リスト画面が表示されます。

② 再生したいファイルを選択する

・ プレイリスト内のファイルは選択しないでください。

☞ **リスト画面の操作（41 ページ）**

③ ▶にタッチする

「タイマー設定の完了」に進んだください。

☞ **タイマー設定の完了（127 ページ）**

●タイマー設定時刻に FM 放送を受信する場合

① ＋ / －にタッチして［FM］を選択し、▶にタッチする

② ＋ / －にタッチして受信したい FM 放送のプリセットチャンネルまたは周波数を選択する

③ ▶にタッチする

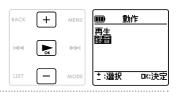
「タイマー設定の完了」に進んだください。

☞ **タイマー設定の完了（127 ページ）**

タイマー録音する場合の設定

■動作の設定

① ＋ / －にタッチして［録音］を選択する

② ▶OKにタッチする

■録音元の設定

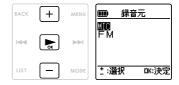
① ＋ / －にタッチして、［MIC］または［FM］を選択する

MIC: 本機の内蔵マイクで録音します。

FM: 受信した FM 放送を録音します。

② ▶OKにタッチする

・「FM」を選択した場合は、ヘッドホン端子にステレオイヤホンを接続してください。

☞ **出力設定（163 ページ）**

■音質の設定（録音元の設定で「MIC を選択した場合のみ）

① ＋ / －、⏮ / ⏭にタッチして録音モードを選択する

・ 録音シーンセレクト（67 ページ）やメニューの録音モード設定（149 ページ）とは関係なく、設定した音質でタイマー録音します。

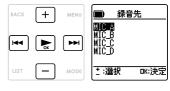
・ 録音元の設定で「FM」を選択した場合は、MP3:128kbps 固定となり、音質の設定はできません。

② ▶OKにタッチする

■録音先の設定（録音元の設定で「MIC」を選択した場合のみ）

① **＋ / −、にタッチして録音するフォルダを選択する**

・ あらかじめ本機に microSD カードをセットしてください

・ 録音元の設定で「FM」を選択した場合は、FM フォルダに録音されます。

② **▶にタッチする**

・ 指定時刻に外部機器と接続してライン入力録音した場合、自動的に LINE（L）フォルダに録音します。

■放送局の設定（録音元の設定で「FM」を選択した場合のみ）

① **＋ / −にタッチして受信したい FM 放送のプリセットチャンネルまたは周波数を選択する**

② **▶にタッチする**

■出力の設定

① **＋ / −にタッチして［ON］または［OFF］を選択します。**

ON: タイマー起動時に本機から音声を出力します。
OFF: タイマー起動時に本機から音声を出力しません。

② **▶にタッチする**

タイマー設定の完了

① ＋ / ーにタッチして [完了] を選択する

必ず［完了］を選択し、確定してください。

② ▶OKにタッチする

・ 登録したタイマーの設定内容が確定し、「共通設定」画面に戻ります。

③ MENU にタッチする

・ 基本画面に戻ります。タイマー設定が ON になっている場合は、画面に が表示されます。

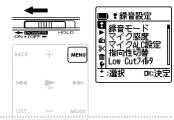
ご注意

・ カレンダー設定が初期化された場合、タイマー設定は OFF になります。
・ タイマー再生でファイル再生を設定後に、選択したファイルを消去した場合、タイマー設定時刻になるとファイル再生の代わりに BEEP 音が 30 秒間鳴ります。
・ 次のような場合は、タイマー予約録音（再生）が正しくできないことがあります。
  - microSD カードの残容量が少なく指定した時間分のタイマー予約録音ができない場合
  - microSD カードが入っていない場合
  - 録音ファイル数の上限を超えた場合
  - パソコンなどと接続していて、タイマー開始時刻になっても動作できない場合
  - タイマー録音中（再生中）に、電池 / 電源が切れた場合
・ 上記のような理由により、タイマーが正常に動作しなかった場合は、またはと「タイマー動作が実行できませんでした」が表示されます。
  ：繰り返しの設定が「1 回」でタイマー録音に失敗した場合。タイマーは「OFF」になっています。
  ：繰り返しの設定が「毎日」、「曜日設定」でタイマー録音に失敗した場合。タイマーは継続して「ON」のままです。

スリープタイマーを使う

スリープタイマーを設定すると、設定した時間が経過した後、自動的に電源を切ることができます。

1 **本機の電源を入れ、MENU にタッチする**
メニュー画面が表示されます。

2 **＋ / －にタッチして［共通設定］を選択し、▶OKにタッチする**

3 **＋ / －にタッチして［スリープタイマー］を選択し、▶OKにタッチする**

⏮ / ⏭にタッチしてスリープタイマーが作動するまでの時間を設定し、▶(OK)にタッチする

10 分〜 120 分の間で 10 分単位で設定できます。0 分に設定するとスリープタイマーが OFF に設定されます。

- 一度スリープタイマー設定した後に、再度スリープタイマー設定メニューに入ると残り時間を確認できます。
- スリープタイマーが設定されると、画面にが表示されます。

スリープタイマー表示

MENU にタッチしてメニューを終了する

ゴミ箱機能について

ゴミ箱機能を「ON」に設定すると、本機で消去したファイルはゴミ箱（🗑）フォルダに移動されます。ゴミ箱（🗑）フォルダの中のファイルは元に戻すことができるので、間違って消去した場合でも安心です。
お買い上げ時は、ゴミ箱機能が「ON」に設定されています。ゴミ箱機能を「OFF」に設定すると、ファイル、フォルダの消去を行なった場合、データは microSD カードから消去され、元に戻すことができません。**誤消去防止のため、ゴミ箱機能を「ON」にすることをおすすめします。**（☞ 167 ページ）

- **ゴミ箱（🗑）フォルダの最大ファイル数は 199 ファイルです。ゴミ箱に 199 ファイルある場合は、それ以上のファイルを削除できないため、ゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルを元のフォルダ内に戻すか、ゴミ箱フォルダを空にしてください。**
  ☞ゴミ箱フォルダ内のファイルを元に戻す（132 ページ）
  ☞ゴミ箱内のファイルを空にする（133 ページ）参照
- **M フォルダのファイルは、ゴミ箱機能設定が「ON」「OFF」にかかわらず、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。**
- ゴミ箱（🗑）フォルダにファイルが多くたまると、動作速度の低下をまねくおそれがあります。定期的にゴミ箱を ″ 空 ″ にすることをおすすめします。
- ゴミ箱機能が「ON」のときにファイルを削除しても、録音残時間表示は増えません。
- インデックスのついたファイルをゴミ箱（🗑）フォルダに移動すると、インデックスファイルも一緒にゴミ箱フォルダに移動します。（ただし、ゴミ箱フォルダではインデックス機能は使えません。）
- microSD カードをフォーマットした場合は、ゴミ箱にあるファイルもすべて消去されます。
- ゴミ箱機能を「OFF」にしても、ゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルは消去されません。
- ゴミ箱（🗑）フォルダは、リスト画面では「RECYCLE」と表示されます。
- microSD カードの空き容量が少ないと、ファイルをゴミ箱に移動できない場合があります。

ゴミ箱機能設定時のゴミ箱フォルダの表示について

●ファイルがない時

●ファイルがある時

①ゴミ箱フォルダ内のファイル番号
②消去前に保存されていたフォルダ
③消去前のファイル番号

ゴミ箱に移動したファイルのファイル名について

ゴミ箱に移動したファイルのファイル名は自動的に変更されます。

例 :MIC_A フォルダの "001A_100320_1200.MP3" のファイルをゴミ箱に移動した場合

001_001 A _100320_1200.MP3
① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① : ゴミ箱内のファイル番号 *（001、002、003…というように、ゴミ箱に移動された順番でつけられます）
② : ファイル番号（ゴミ箱に移動する前のファイル番号です）
③ : 元のフォルダ（A ～ D、L、F）
④ : 日付（ファイルを録音した日付です）
⑤ : 録音時刻（ファイルを録音開始した時点の時刻です）
⑥ : 拡張子（ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV となります）
* 本機では表示されません。パソコンでのみ表示されます。

ゴミ箱フォルダ内のファイルを元に戻す

1 ゴミ箱（🗑）フォルダに切り換える

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

2 MENU にタッチする

メニュー画面が表示されます。

3 ＋ / －にタッチして［🗑 消去設定］を選択し、▶にタッチする

「消去メニュー」が表示されます。

4 ＋ / －にタッチして［1 件戻す］を選択し、▶にタッチする

ゴミ箱フォルダー内のファイルがリスト表示されます。

- ゴミ箱にファイルがない場合は、メニューの選択ができません。

5 **＋ / －にタッチして元に戻すファイルを選択し、▶OKにタッチする**

6 **⏮ / ⏭にタッチして［実行］を選択し、▶OKにタッチする**

“ゴミ箱からファイルを戻しています…”と表示された後、“＊の末尾にファイルを戻しました”と表示されます。（＊はフォルダ名が入ります）
もう一度▶OKにタッチするとリスト表示に戻ります。

- **ゴミ箱内のファイルを元に戻した場合、ファイル名が変わり、元のフォルダの最後尾に復元されます。**
- 手順6で“＊が一杯です。ファイルを戻せません”と表示された場合は元のフォルダのファイル数が制限数に達しています。ファイルを消去して空き容量を増やしてください。（＊はフォルダ名が入ります。）

ゴミ箱内のファイルを空にする

ゴミ箱を空にすると、ゴミ箱内のファイルは完全に microSD カードから削除されます。元に戻すことはできないので、空にする前に必要なデータはパソコンや外部機器などに保存してください。

1 ゴミ箱（🗑）フォルダに切り替える

☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

2 MENU にタッチする

メニュー画面が表示されます。

3 ＋ / －にタッチして［🗑 消去設定］を選択し、▶OKにタッチする

4 ＋ / －にタッチして［ゴミ箱を空にする］を選択し、▶OKにタッチする

5 ⏮ / ⏭にタッチして［実行］を選択し、▶OKにタッチする

“ゴミ箱を空にしています ...” と表示され、ゴミ箱が空になります。

停止ボタン（□）を押すと、ゴミ箱が空になっていることが確認できます。

1 件消去する（ファイル消去）

フォルダ内のファイルを 1 つ選んで消去することができます。

- ゴミ箱機能がオフに設定されている場合（☞ 167 ページ）、一度消去した音声などは元に戻すことができません。消去する前に、必ず録音内容を確認してください。
- 操作前に電池の残量が十分にあることを確認してください。
- M フォルダのファイルは、ゴミ箱機能設定が「ON」「OFF」にかかわらず、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。
- M フォルダのサブフォルダは消去できません。パソコンに接続してパソコン上で消去してください。

1 **本機の電源を入れる**

☞ 電源を入れる（44 ページ）

2 **消去したいファイルのあるフォルダに切り換える**

☞ 動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）

3 **MENU にタッチする**

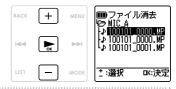
メニュー画面が表示されます。

4 **＋ / －にタッチして［🗑 消去設定］を選択し、▶OK にタッチする**

「消去設定」画面が表示されます。

5 ＋ / －にタッチして［ファイル］を選択し、▶にタッチする

選択したフォルダ内のファイルがリスト表示されます。

6 ＋ / －にタッチして消去するファイルを選択し、▶にタッチする

7 ⏮ / ⏭にタッチして［実行］を選択し、▶にタッチする

- 消去を中止する場合は、［取消］を選択してください。

●ゴミ箱機能がオンに設定されている場合
「消去実行中」の表示後、「🗑ゴミ箱に移しました」と表示され、ファイルがゴミ箱に移動します。
もう一度▶にタッチするとリスト表示に戻ります。

- インデックスファイルもゴミ箱に移動します。

●ゴミ箱機能が「OFF」に設定されている場合、または M フォルダの場合
「消去実行中」の表示後、ファイルが消去されリスト表示に戻ります。

全件消去する（フォルダ消去）

フォルダ内の全ファイルを一括して消去することができます。

- ゴミ箱機能がオフに設定されている場合（☞ 167 ページ）、一度消去した音声などは元に戻すことができません。消去する前に、必ず録音内容を確認してください。
- 操作前に電池の残量が十分にあることを確認してください。
- M フォルダのファイルは、ゴミ箱機能設定が「ON」「OFF」にかかわらず、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。

1 本機の電源を入れる

☞ 電源を入れる（44 ページ）

2 RECORD モードまたは MUSIC モードに切り換える

☞ 動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）

3 MENU にタッチする

メニュー画面が表示されます。

4 ＋ / －にタッチして[🗑 消去設定]を選択し、▶にタッチする

「消去設定」画面が表示されます。

消去する

5 ＋ / −にタッチして［フォルダ］を選択し、▶OKにタッチする

フォルダがリスト表示されます。

6 ＋ / −にタッチして全件消去するフォルダを選択し、▶OKにタッチする

7 ⏮ / ⏭にタッチして［実行］を選択し、▶OKにタッチする

- 消去を中止する場合は、［取消］を選択してください。

●ゴミ箱機能がオンに設定されている場合
「消去実行中」の表示後、「🗑ゴミ箱に移しました」と表示され、ファイルがゴミ箱に移動します。
もう一度、▶OKにタッチするとリスト表示に戻ります。

- インデックスファイルもゴミ箱に移動します。

●ゴミ箱機能が「OFF」に設定されている場合、または M フォルダの場合
「消去実行中」の表示後、ファイルが消去されリスト表示に戻ります。

microSD カードを初期化する（フォーマット）

フォーマットを行うと、ゴミ箱機能が「ON」の場合でも全てのファイルが完全に消去されます（microSD カード初期化）。一度消去したファイルは元に戻すことができません。
消去前に必ず microSD カード内の録音内容を確認してください。全データの消去前に、必要なデータはパソコンや外部機器にバックアップしてください。
（☞ 178、209 ページ）

・ 全データを消去する前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

1 本機の電源を入れる
☞ 電源を入れる（44 ページ）

2 MENU にタッチする
メニュー画面が表示されます。

3 ＋ / －にタッチして［共通設定］を選択し、▶にタッチする
「共通設定」画面が表示されます。

4 ＋ / －にタッチして［フォーマット］を選択し、▶にタッチする

5 **⏮ / ⏭にタッチして［実行］を選択し、▶OKにタッチする**

フォーマット実行中⇒フォーマット完了！と表示され、SD カード内の全データを消去します。

- フォーマットを実行しないときは［取消］を選択し、▶OKにタッチします。
- フォーマット実行中の取消動作はできません。
- フォーマット中に microSD カードや電池を抜かないでください。
- フォーマット中は、LED ランプが点滅します。

MENU にタッチして、メニューを終了する

メニューについて

メニュー操作のしかた

メニュー画面で本機の設定を変更したり、本機の機能を使うことができます。
ここでは、基本的なメニュー設定の操作について説明します。
例 : 録音モードを変更する場合

1 本機の電源を入れ、RECORD モードまたは MUSIC モードに切り換える

☞ **電源を入れる（44 ページ）**
☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

2 MENU にタッチする

メニュー画面が表示されます。

3 メニュー項目を選択する

＋ / ーにタッチして、メニュー項目を選択し、▶OK にタッチします。
ここでは［録音設定］を選びます。

4 設定項目を選択する

＋ / ーにタッチして設定項目を選択し、▶OK にタッチします。
ここでは［録音モード］を選びます。
設定する内容は、設定項目により異なります。

5 設定内容を変更する

⏮ / ⏭、＋ / －にタッチして、設定項目を選択し、▶(OK)にタッチします。ここでは「MP3:192kbps」を選びます。

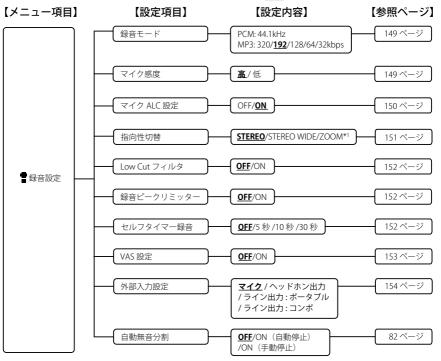
6 MENU にタッチする

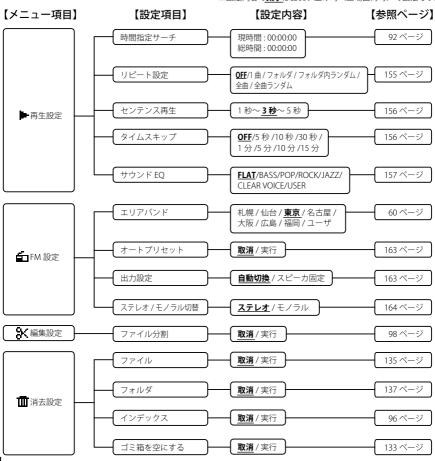
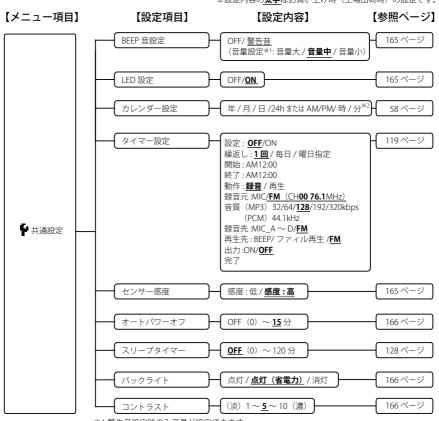
メニュー操作を終了します。
これで設定は完了です。

メニュー一覧

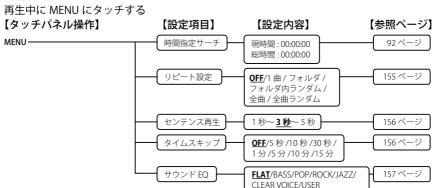
■停止中メニュー

基本画面で停止中に MENU にタッチする

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

*1 ICR-XPS03M のみ

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

※1 警告音設定時のみ音量が設定できます。
※2 お買い上げ時（工場出荷時）は 2010 年 1 月 1 日 24H 0 時 00 分に設定されています。

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

■再生中メニュー

再生中に MENU にタッチする

■ゴミ箱メニュー

ゴミ箱フォルダで消去メニューを選択する

■プレイリスト編集メニュー

プレイリスト（MYLIST）内をリスト表示中に MENU にタッチする

■プリセット編集メニュー

FM RADIO モードで LIST にタッチする

■録音シーンセレクト編集メニュー

録音シーンセレクト画面で MENU にタッチする

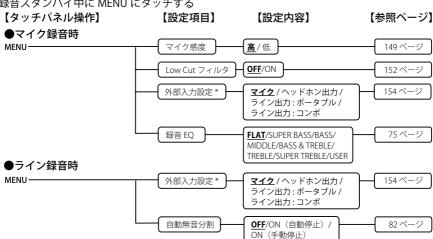
【タッチパネル操作】 【設定項目】 【参照ページ】

MENU

- 録音モード
- マイク感度
- ALC 設定
- 指向性切替
- LowCut
- 録音ピークリミッタ
- セルフタイマー録音
- VAS 設定
- 外部入力設定
- 自動無音分割
- 登録

159 ページ

■録音スタンバイ中メニュー

録音スタンバイ中に MENU にタッチする

* 録音スタンバイ中に、外部入力設定でマイク / ライン（ヘッドホン出力 / ライン出力 : ポータブル / ライン出力 : コンポ）を切り換える場合、一度停止ボタンで録音スタンバイを解除しないと設定が有効になりません。

録音に関するメニュー設定（録音設定）

録音モード

マイク録音およびライン録音時の音質を変更することができます。目的に応じて最適な音質をお選びいただけます。

PCM	44.1kHz	高音質録音
MP3	320kbps	↑
	192kbps	
	128kbps	標準音質
	64kbps	↓
	32kbps	長時間録音

・ PCM は音声データをすべて非圧縮で記録し、MP3 は圧縮して記録します。音質を高めるとデータサイズは大きくなり録音できる時間はそれだけ短くなります。音質を優先するか、録音時間を優先するかを考え、目的に合った録音モードをお選びください。

☞ **録音モードと録音可能時間**
（211 ページ）

・ 選んだ録音モードが画面に表示されます。

マイク感度

録音状況に応じて、マイクの感度を切り換えることができます。
録音した音声が小さい場合や大きすぎる場合は、マイク感度を切り換えて調整してください。

マイク感度表示

高：録音した音声が小さすぎる場合は高に設定してください。
低：録音した音声が大きすぎる場合は低に設定してください。

・ マイク感度の設定を切り換えると画面のアイコンが変わります。

マイク感度	STEREO	STEREO WIDE	ZOOM[*1]
高			
低			

*1 ICR-XPS03M のみ

・ マイク感度は、マイク録音時のみ有効になります。

マイク ALC 設定

会議や人の声を録音するときはマイク ALC（オートレベルコントロール）を ON に、楽器演奏や自然の音など、手動で録音レベルを調整して録音するときはマイク ALC を OFF に設定してください。

マイク ALC 設定	ON	OFF
特長	大きい音は少し小さく、小さい音は少し大きく録音します。音割れや歪みを抑え、聞き取りに適した音声録音を行います。	音の大小をそのまま録音し、原音に忠実な音声録音を行います。
主な使用場面	会議や商談、講演やインタビューなど	楽器演奏など

マイクALC設定
OFF
ON
±:選択　OK:決定

OFF: ALCをオフにします。
ON: ALCをオンにします。

・ マイク ALC 設定を「OFF」に設定すると、マイク感度のアイコンの右側に現在の録音レベルが表示されます。「ON」に設定されているときは何も表示されません。
・ マイク ALC は、マイク録音時のみ有効になります。

・マイク ALC を「OFF」に設定した状態で録音すると、録音スタンバイ画面が表示され、録音レベルの手動調整が可能です。
☞ 録音レベルの調整のしかた（72 ページ）
・ マイク ALC を「OFF」に設定すると、録音スタンバイ状態で「マイク感度」、「Low Cut フィルタ」、「外部入力設定」、および「録音 EQ」が設定できます。

指向性切替

本機は、無指向性のステレオマイクと ZOOM マイク（ICR-XPS03M のみ）を内蔵しており、録音シーンに合わせて、切り換えて使用することができます。

	ステレオ	ステレオワイド	ZOOM*1
マイクタイプ	無指向性マイク	無指向性マイク	ZOOM マイク
ステレオワイド機能	OFF	ON	OFF
特長	全方向にバランスよく録音できます。	ステレオ感を強調して録音できます。	前方向の音を録音できます。
使用用途	・口述録音 ・少人数での会議	・対談、インタビュー	・講義

・ マイク指向性の設定を切り換えると画面のアイコンが変わります。

: STEREO
: STEREO WIDE
: ZOOM*1

*1 ZOOM マイクは、ICR-XPS03M のみ

Low Cut フィルタ

録音時に低い周波数の音を減衰させ、クリアな音を録音します。会議録音で気になる空調設備の音などを低減したい時に効果的です。

OFF: LowCut フィルタを設定しない
ON: LowCut フィルタを設定する

・ Low Cut フィルタを「ON」に設定すると画面にアイコンが表示されます。

録音ピークリミッター

突然の過大入力を自動で調整し、音の歪みを抑えて録音することができます。

・ マイク ALC の設定が「OFF」のときのみ有効です。

OFF: 録音ピークリミッターを設定しない
ON: 録音ピークリミッターを設定する

セルフタイマー録音

本機のマイク録音時、録音ボタン（○）を押してから録音を開始するまでの時間をお好みで設定できます。楽器の練習等、録音までの準備を一定時間必要とする録音に最適です。

OFF: セルフタイマーを設定しません。
5 秒 : 録音ボタン（○）を押した 5 秒後に録音を開始します。
10 秒 : 録音ボタン（○）を押した 10 秒後に録音を開始します。
30 秒 : 録音ボタン（○）を押した 30 秒後に録音を開始します。

・ 録音ボタン (○) を押すと､セルフタイマー待機画面が表示され、設定した時間のカウントダウンが始まります。LED 設定が「ON」に設定されているときは、LED ランプが点滅します。

・録音シーンセレクトで音楽を選択している場合、または ALC が「OFF」に設定されている場合は、「録音スタンバイモード」になります。録音レベルを調整した後（72 ページ）、再度録音ボタン（○）を押してください。セルフタイマー待機画面で、設定時間のカウントダウンが始まります。
設定した時間が経過すると、録音を開始します。

・一度セルフタイマー録音を開始すると、セルフタイマーの設定を「OFF」にするか、メニューの初期化を行うまで、設定は保存されます。
☞ **メニュー初期化（167 ページ）**
・カウントダウン中に停止ボタン（□）を押すと、セルフタイマー録音をキャンセルできます。キャンセルした場合は、もう一度録音ボタン（○）を押すとカウントダウンが始まります。

VAS 設定（音声起動録音）

VAS（音声起動録音）を「ON」に設定すると、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定レベル以下になると録音が自動的に一時停止（録音待機）します。

・マイク ALC が「OFF」に設定されている場合、VAS 録音はできません。
・VAS 設定「ON」で録音中に、一時停止（録音待機）になっても、オートパワーオフ機能は働きません。
ただし、VAS 録音中に録音ボタン（○）を押す（一時停止）と、通常の録音一時停止状態になります。（オートパワーオフを「ON」に設定しているときは、設定された時間の経過後に自動的に電源が切れます。）
・ライン録音時は、VAS は設定できません。
・小さな音の場合は録音しないことがありますので、大切な録音をするときは、この機能を「OFF」に設定してください。
・Low Cut フィルタを「ON」に設定すると低域の音がカットされるため、正しく録音されない場合があります。そのような場合は、Low Cut フィルタを「OFF」に設定してください。

OFF：
VAS をオフにします。

ON：
VAS をオンにします。

・ VAS を「ON」に設定すると、画面にアイコンが表示されます。

・ 録音ボタン（○）を押すと、音声を感知すると自動的に録音が始まります。音声を感知できない場合は、一時停止（録音待機）になり、経過時間と VAS 表示が点滅し、一時停止状態になります。
・ 停止ボタン（□）を押すと録音停止状態になります。

■音声感知レベルの調整

VAS 設定 ON で録音中に ⏮ / ⏭ にタッチすると、録音感知レベルを調整できます。

・ 1 〜 5 段階に調整できます。（お買い上げ時は 3 に設定されています。）
・ 数値が高くなるほど小さな音を感知して録音を開始しますが、雑音の多い場所では、録音が一時停止しない場合があります。

外部入力設定

外部入力（ライン）/ マイク端子に接続する機器により、入力レベルの設定を切り換えることができます。

マイク : 外部マイクを接続する場合の設定です。
ライン : 外部機器を接続する場合の設定です。

ラインを選択した場合は、接続する機器によって設定の切り換えができます。

ヘッドホン出力 :
外部機器のヘッドホン出力端子などと接続する場合の設定です。

ライン出力 : ポータブル :
ポータブル機器のライン出力端子などと接続する場合の設定です。

ライン出力 : コンポ :
コンポ、AV アンプなどのライン出力端子と接続する場合の設定です。

再生に関するメニュー設定（▶ 再生設定）

リピート設定

ファイルをリピート再生（繰り返し再生）することができます。1 ファイルを何度も繰り返したり、フォルダ内のファイルを順に再生したり、ランダムに再生したり、いろいろなリピート再生を選択することができます。

OFF:
　リピート再生をオフにします。
1 曲 :
　選択中のファイルを繰り返し再生します。
フォルダ :
　フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。（フォルダをまたがっての再生はできません）
フォルダ内ランダム :
　フォルダ内のすべてのファイルを順不同に並べ換えて繰り返し再生します。（フォルダをまたがっての再生はできません）
全曲 :
　MUSIC フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。
　MIC（A ～ D）フォルダ、LINE（L）フォルダの場合は、指定フォルダ内のファイルリピート再生になります。
全曲ランダム :
　MUSIC フォルダ内にあるすべてのフォルダ内のファイルを順不同に並べ換えて繰り返し再生します。
　MIC（A ～ D）フォルダ、LINE（L）フォルダの場合は、指定フォルダ内のファイルランダムリピート再生になります。

• リピートを設定すると画面にアイコンが表示されます。

リピート表示

1曲
フォルダ
フォルダ内ランダム
全曲
全曲ランダム

ファイルを再生すると、設定されているリピートモードで再生を開始します。

• リピート再生を中止するときは、リピートモードの設定で「OFF」を選択してください。
• 全曲、全曲ランダムで認識する曲数は最大 3000 曲です。

メニューについて

センテンス再生

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生できる機能です。音楽の短いフレーズや、重要な音声を聞き逃したときなどに便利です。

1 秒〜 5 秒の範囲で 1 秒単位で設定できます。

☞ **センテンス（少し戻り）再生を行う（90 ページ）**

タイムスキップ

再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけスキップして再生することができます。
短いフレーズを繰り返したり、再生位置をすばやく移動させたりする時に便利です。

スキップ間隔は、OFF、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、15 分から選択できます。OFF を選択すると、タイムスキップ機能ははたらきません。

☞ **タイムスキップ（送り / 戻し）するには（87 ページ）**

サウンド EQ

サウンド EQ を設定することにより、お好みの音質で音楽をお楽しみいただけます。

・ サウンド EQ は、ステレオヘッドホン再生時のみ有効となります。

■サウンド EQ モードを選択する

あらかじめプリセットされている「FLAT」、「BASS」、「POP」、「ROCK」、「JAZZ」、「CLEAR VOICE」の 6 種類のサウンド EQ モードと、5 バンドのサウンドレベルを自由に設定できる「USER」から選択することができます。プリセットサウンドの特徴は、以下のとおりです。

FLAT	BASS	POP	ROCK	JAZZ	CLEAR VOICE
サウンドEQ ◀ FLAT ▶ +6 0 -6 150 500 1k 4k 12k ◀ ▶:選択 OK:決定	サウンドEQ ◀ BASS ▶ +6 0 -6 150 500 1k 4k 12k ◀ ▶:選択 OK:決定	サウンドEQ ◀ POP ▶ +6 0 -6 150 500 1k 4k 12k ◀ ▶:選択 OK:決定	サウンドEQ ◀ ROCK ▶ +6 0 -6 150 500 1k 4k 12k ◀ ▶:選択 OK:決定	サウンドEQ ◀ JAZZ ▶ +6 0 -6 150 500 1k 4k 12k ◀ ▶:選択 OK:決定	サウンドEQ ◀ CLEAR VOICE ▶ +6 0 -6 150 500 1k 4k 12k ◀ ▶:選択 OK:決定
「サウンド EQ」機能を使わず、原音のまま再生します。	低音域を強調します。	高音域をより強調します。	低音域と高音域をやや強調します。	中音域を強調します。	雑音を軽減し、音声を聞きやすくします。

・「USER」の出荷時の設定は、「FLAT」と同様です。

・ プリセットされている 6 種類のサウンド EQ モードは、設定内容の変更（調整）はできません。

・ 細かい設定内容の変更を行いたい場合は、「USER」を選択してください。

☞ サウンド EQ をお好みの音質に設定する（158 ページ）

- 設定したサウンド EQ モードが画面に表示されます。

■サウンド EQ をお好みの音質に設定する（USER 選択時のみ）

サウンド EQ で「USER」を選択している場合、サウンド EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定することができます。

1 サウンド EQ 設定で USER を選択する

2 ーにタッチする

150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。

3 ⏮ / ⏭にタッチして変更したい周波数帯を選ぶ

選択している周波数帯が黒色バー表示になります。

- 「150Hz」、「500Hz」、「1kHz」、「4kHz」、「12kHz」の周波数帯の調整ができます。

4 ＋ / ーにタッチして、選択した周波数帯のレベルを調整する

－ 6dB ～ 6dB（13 段階）まで、 1 dB ごとに調整できます。dB の数字が大きいほど強調されます。

- ＋にタッチするとレベルが大きくなります。
- ーにタッチするとレベルが小さくなります。
- **他の周波数を変更する場合は手順3と手順4の操作を繰り返してください。**
- **途中で設定を中止するときは、停止ボタン（□）を押してください。手順1の画面に戻ります。**

5 ▶OKにタッチする

MENU にタッチしてメニューを終了する

録音シーンセレクトの設定内容を変更する

本機にあらかじめプリセットされている録音シーンの設定をお好みで編集することができます。
設定が変更できる項目と、本機にあらかじめプリセットされている設定は、以下の通りです。

● ICR-XPS01M

項目	マイク録音用の設定			ライン録音用の設定		
	口述	会議・講義	音楽	ヘッドホン	ポータブル	コンポ
録音モード	MP3: 64kbps	MP3: 192kbps	PCM: 44.1kHz	MP3: 192kbps	MP3: 192kbps	MP3: 192kbps
マイク感度	低	高	高	高	高	高
マイク ALC 設定	ON	ON	OFF	ON	ON	ON
指向性切替	STEREO	STEREO	STEREO	STEREO	STEREO	STEREO
LowCut フィルタ	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
録音ピークリミッター	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
VAS 設定	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
外部入力設定	MIC	MIC	MIC	HP: ヘッドホン	PO: ポータブル	CO: コンポ
自動無音分割	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

● ICR-XPS03M

項目	マイク録音用の設定				ライン録音用の設定		
	口述	会議	講義	音楽	ヘッドホン	ポータブル	コンポ
録音モード	MP3: 64kbps	MP3: 192kbps	MP3: 192kbps	PCM: 44.1kHz	MP3: 192kbps	MP3: 192kbps	MP3: 192kbps
マイク感度	低	高	高	高	高	高	高
マイク ALC 設定	ON	ON	ON	OFF	ON	ON	ON
指向性切替	STEREO	STEREO	ZOOM	STEREO	STEREO	STEREO	STEREO
LowCut フィルタ	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
録音ピークリミッター	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
VAS 設定	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
外部入力設定	MIC	MIC	MIC	MIC	HP: ヘッドホン	PO: ポータブル	CO: コンポ
自動無音分割	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

録音シーンの設定内容を変更する

本機にプリセットされている録音シーンの設定を変更します。変更した設定は、そのまま保存されます。

1 **本機の電源を入れ、RECORD モードまたは MUSIC モードに切り換える**

☞ **電源を入れる（44 ページ）**
☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

2 **シーンボタン（♪）を押す**

現在、選択されている録音シーンが表示されます。

3 **⏮ / ⏭にタッチして設定を変更したい録音シーンを選択する**

- ここでは「口述」を選択しています。

4 **MENU にタッチする**

録音シーン設定画面が表示されます。

5 **＋ / －にタッチして設定を変更する項目を選択する**

- ここでは「録音モード」を選択しています。

6 **▶OKにタッチする**

選択した項目の設定画面が表示されます。

7 **設定を変更する**

手順5で選択した項目によって設定の方法がそれぞれ異なりますので、設定内容については、以下のページを参照してください。

☞ **録音モード（149 ページ）**
☞ **マイク感度（149 ページ）**
☞ **ALC 設定（150 ページ）**
☞ **指向性切替（151 ページ）**
☞ **LowCut フィルタ（152 ページ）**
☞ **録音ピークリミッター(152 ページ)**
☞ **セルフタイマー録音(152 ページ)**
☞ **VAS 設定（153 ページ）**
☞ **外部入力設定（154 ページ）**
☞ **自動無音分割（82 ページ）**

続けて、他の項目の設定を変更する場合は、手順5〜7を繰り返してください。

8 ＋ / ーにタッチして［登録］を選択し、▶OKにタッチする

設定変更した内容が、録音シーンに上書きされ、録音シーンセレクト画面に戻ります。

- 必ず、［登録］を選択し、▶OKにタッチしてください。変更した設定が反映されません。
- 登録の操作を行わず、設定の途中で停止ボタン（□）を押した場合は、「設定した内容で登録しますか？」と表示されます。⏮ / ⏭にタッチして「はい / いいえ」を選択してください。

  はい：変更した内容を登録します。
  いいえ：変更した内容を登録しません。

シーン / 操作案内ボタン（👤♪）を押して基本画面に戻る

録音シーンの設定内容を元に戻す

変更した録音シーンの設定をお買い上げ時の状態に戻す（初期化）ことができます。

1 本機の電源を入れ、RECORD モードまたは MUSIC モードに切り換える

☞ **電源を入れる（44 ページ）**
☞ **動作モード / フォルダを切り換える（39 ページ）**

2 シーンボタン（👤♪）を長押し（2 秒以上）する

「設定初期化」画面が表示されます。

3 ⏮ / ⏭、＋ / −にタッチして設定を元に戻したい録音シーンを選択し、▶OKにタッチする

（画面はICR-XPS03Mの場合）

- すべての録音シーンの設定を元に戻したい場合は、［ALL］を選択してください。

4 ⏮ / ⏭にタッチして［実行］を選択し、▶OKにタッチする

選択した録音シーンの設定が元に戻り（初期化）、基本画面に戻ります。

FM ラジオに関するメニュー設定（ FM 設定）

オートプリセット

現在、本機で聞くことのできる電波の強い放送局を受信して、メニュー設定「エリアバンド」の「ユーザー」にプリセットします。

☞ **お使いになる地域を設定する（60 ページ）**

・ オートプリセットを使うと、プリセットできたチャンネルを ⏮ / ⏭ で選局できます。

取消 : オートプリセットを取り消します
実行 : オートプリセットを実行します。

実行を選択すると、“ オートプリセット中 ” と表示され、周波数の下限から自動的に選局が始まり、受信した放送局が自動的にプリセットされます。

・ 受信できる放送局が 20 局登録されるか、周波数の上限に達するとオートプリセットを終了し、チャンネル 1 に登録された放送局を受信します。
・ 電波が弱く、受信状態が悪い場合は、オートプリセットができない場合があります。
・ 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信してプリセットすることがありますが、故障ではありません。
・ オートプリセットを実行すると、エリアバンドの設定は自動的に［ユーザ］に切り換わります。

出力設定

FM 放送受信時に、ヘッドホンを接続している時も音声をスピーカーから出力することができます。
FM 放送受信時はヘッドホンがアンテナの役目をするため、ヘッドホンを本機に接続しておかなければなりません。通常、ヘッドホンを接続するとヘッドホンからのみ音声が出力されますが、「スピーカー固定」に設定するとヘッドホンを接続した状態でもスピーカーから音声を出力することができます。

自動切換 :
　ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声を出力しません。
スピーカー固定 :
　ヘッドホン接続時も、スピーカーから音声を出力します。

・「スピーカー固定」は、FM 放送受信時のみ有効です。ファイル再生時はヘッドホンを接続すると、スピーカーから音声は出力されません。

ステレオ / モノラル切替

FM 放送受信時、受信状態によって雑音で聞こえにくい場合は、モノラルに切り換えると聞きやすくなる場合があります。

ステレオ : ステレオで受信します。
モノラル : 常にモノラルになります。

その他のメニュー設定（共通設定）

BEEP 音設定

ボタン操作時の BEEP 音（ピッ）を設定したり、鳴らないようにしたりすることができます。

OFF:
　ボタン操作時に BEEP 音を鳴らしません。
警告音 :
　ボタン操作時に BEEP 音を鳴らします。

- ［警告音］を選択した場合は、+ / −にタッチしてお好みの音量を選択し、OKにタッチしてください。

LED 設定

録音時、LED ランプを点灯しないように設定することができます。

OFF:
　録音時、LED ランプが点灯しません。
ON:
　録音時、LED ランプが点灯します。また、操作時の反応に合わせて点灯します。

センサー感度

タッチパネルにタッチしたときの感度を調整します。

感度 : 高
感度 : 低

オートパワーオフ

電源オン状態で、設定した時間、本機を使用しなかった場合、自動的に電源が切れる機能です（録音中、VAS 録音で一時待機中、再生中を除く）。電源を切り忘れても自動で電源が切れるので、余分な電池の消耗を防ぎます。

- 1 分単位で設定できます。
- OFF に設定するとオートパワーオフ機能ははたらきません。

バックライト

操作時の画面およびタッチ操作部のバックライトの設定を変更します。

点灯 :

画面は 30 秒後に省電力、タッチ操作部は常時点灯

点灯（省電力）:

画面は 30 秒後に省電力、タッチ操作部は 30 秒間点灯後に消灯

消灯 :

画面、タッチ操作部ともに 30 秒後に消灯

- お買い上げ時は、「点灯（省電力）」に設定されています。
- 電池の残量が少ない場合は、バックライトが点灯しないことがあります。
- バックライト設定が消灯の場合は、30 秒経過すると画面・操作部ともに暗くなるため、状況を確認する場合はタッチ操作部を一度タッチしてください。

コントラスト

画面のコントラストを調節します。
調整は 10 段階で設定できます。

表示調整 : 1（淡）～ 10（濃）

ゴミ箱機能

ゴミ箱機能を無効（OFF）の状態で消去したファイルは、元に戻すことができません。**通常は、誤消去防止のため有効（ON）に設定しておくことをおすすめします。**

LED 操作ナビ

ボタン / タッチ操作部の LED を有効(点灯)、無効（消灯）など、操作ナビゲーション機能の ON/OFF を切り換えます。

OFF: LED 操作ナビ機能を無効にする
ON: LED 操作ナビ機能を有効にする

メニュー初期化

本機の設定を初期化すると、メニュー設定（カレンダー設定を除く）はお買い上げ時の状態に戻ります。

・ メニューを初期化しても microSD カード内のデータは消去されません。

取消 : メニュー初期化を取消し前画面に戻ります。
実行 : メニューを初期化します。

バージョン

本機ファームウェアのバージョンを確認することができます。

パソコンでお使いになる前に

動作環境の確認

動作環境

本機は以下のパソコン環境で動作します。

対応機種	Windows 標準搭載パソコン
対応 OS （日本語版）	Windows 7 Windows Vista Windows XP
USB 端子	本製品接続時に 1 つ必要
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要 サウンド再生機能を搭載のパソコン

● Windows Media Player について

お使いの OS に対応した、以下のいずれかの Windows Media Player をお使いください。

Windows Media Player12	Windows 7
Windows Media Player11	Windows Vista / Windows XP
Windows Media Player10	Windows XP

※上記以外の Windows Media Player での動作保証はいたしません。
※上記は 2010 年 1 月現在での動作環境です。

最新の Windows Media Player は、以下の URL から入手してください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx
☞ Windows Media Player のバージョンを確認する（170 ページ）

- Macintosh など Windows を搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしません。
- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  -Windows 各 OS からのアップグレード環境
  -Windows95、Windows NT、Windows98、Windows98SE、Windows2000、
  Windows Me
  -Windows 各 OS のデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
- Windows 7/Vista/XP をお使いの場合、管理者権限（Administrators）のユーザにてご使用ください。

※サスペンド：
CPU、LCD、HDD などを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPU は停止しているが ROM への電力供給はされている状態。

■パソコン接続時のご注意

- **本機で録音した MP3 または、WAV ファイルの名前をパソコンで変更すると、元のフォルダで再生できなくなります。ファイル名規則に則ったファイル名に戻すか、MUSIC フォルダに移して再生してください。**（☞ 36 ページ）
- microSD カードのフォーマットは必ず本機側で行ってください。パソコンでフォーマットを行うと、以降の録音が正常に行われなくなることがあります。
- パソコンでフォーマットしてしまった場合は、再度本機でフォーマットしてください。（☞ 139 ページ）
- バスパワー型 USB ハブ、または USB 延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用 USB 接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。

Windows Media Player のバージョンを確認する

お使いのパソコンのメーカーや OS のバージョンにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。本書の説明で使用する画面は、Windows XP/ Windows Media Player 11 となります。その他のバージョンの OS/Windows Media Player をお使いの場合は、当社サポート HP をご覧ください。
http://jp.sanyo.com/icr/support/index.html

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］-［Windows Media Player］を選択して、Windows Media player を起動する

2 メニューバーが表示されている場合は、［ヘルプ］-［バージョン情報］をクリックする

メニューバーが表示されていない場合は、手順1の Windows Media Player を起動した状態で、キーボードの［Ctrl］キーを押しながら［M］を押すとメニューバーが表示されます。

3 [バージョン] の右側に表示されている数字を確認する

一番左のケタ番号が、お使いの Windows Media Player のバージョンです。

10.XX.XX ⇒ バージョン 10
11.XX.XX ⇒ バージョン 11
12.XX.XX ⇒ バージョン 12

7.XX…、8.XX…、9.XX…と表記されているバージョンは動作保証致しません。

パソコンでできること

パソコンを使ってこんなことができます。

■録音した音声ファイルをパソコンに保存する

本機で録音した音声ファイルをパソコンにバックアップできます。

■パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す

本機からパソコンにバックアップした音声ファイルを、もう一度本機に戻して聞くことができます。

■音声ファイルを CD-R/RW にコピーする

本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。

■音声ファイルを作成する（CD リッピング）

音楽 CD や語学 CD などから、本機で再生可能なファイルをパソコンで作成します。

■ Windows Media Player で音楽ファイルを転送する

パソコンで作成した音楽ファイルを、Windows Media Player を使って本機に取り込みます。

■ microSD カードリーダー / ライターとして使用する

本機を microSD カードリーダー / ライターとして使うことができます。

パソコンに接続する / 取り外す

パソコンに接続する

1 **microUSB 接続ケーブルを本機の microUSB 端子に接続する**

2 **電源オフの状態で、microUSB 接続ケーブルのもう一方をパソコンに接続する**

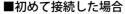
- バスパワー型 USB ハブ、または USB 延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用の microUSB 接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。

■パソコンに接続中の画面の表示

通信中は本機をパソコンから抜かないでください。
接続画面表示中は、本機のどのボタンやスイッチを押しても動作しません。

接続時

通信時

■初めて接続した場合

図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。

- パソコンに何も表示されない場合（☞ **194 ページ**）

■自動再生画面について

Windows XP または Windows Vista、Windows 7 をお使いの場合は「自動再生」画面が表示される場合があります。
「自動再生」画面で「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して「OK」をクリックすると、本機のフォルダが表示されます。
また、「自動再生」画面で実行する動作の種類や表記は、お使いのパソコン環境によって変わります。

パソコンから取り外す

1 **「タスクトレイ」の をクリックし、[USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブを安全に取り外します] をクリックする**

- お使いのパソコン環境により、ドライブのアルファベット表記が異なりますが、問題はありません。

2 **下図のメッセージが表示されたら、本機をパソコンから取り外す**

- 「タスクトレイ」に が表示されない場合は、 をクリックしてください。隠れているアイコンが表示されます。それでも表示されない場合は、パソコンの電源を切り、本機を取り外してください。

パソコンまたは USB 対応 AC アダプターで充電する

本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターに接続し、リチウムイオン充電池（付属）を充電することができます。

パソコンに接続する

本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターに接続する

☞パソコンに接続する（172 ページ）

クリック

14:39

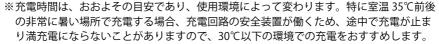
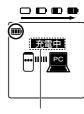
クリック

本機の画面が PC 接続中の表示であることを確認してください。

LED ランプ が点灯し、充電が始まります。

充電中表示

- 充電中は画面の電池残量の表示が図のように切り換わります。
- 途中で充電を止めるときは、本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターから取り外してください。
  ☞パソコンから取り外す（173 ページ）
- 充電が完了すると、録音 LED が消灯します。
- 充電時間は約 150 分です。

※充電時間は、おおよその目安であり、使用環境によって変わります。特に室温 35℃前後の非常に暑い場所で充電する場合、充電回路の安全装置が働くため、途中で充電が止まり満充電にならないことがありますので、30℃以下の環境での充電をおすすめします。

充電が完了したら、本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターから取り外す

☞パソコンから取り外す（173 ページ）

・ マルチクレードルを使って本機を充電することもできます。
  ☞**マルチクレードルで充電する（56 ページ）**
• 画面に PC 接続中の表示が出ないときは、再度、本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターに接続し直してください。
  ☞**パソコンに接続する（172 ページ）**
• 以下の状態のときは充電しない場合があります。
  - パソコンが休止状態のモードになったとき
  - パソコンを再起動したとき
• 充電表示に☒が表示されると、以下のような理由により充電できません。
  - 本機に電池が入っていない
  - 本機の温度が上がっている
  （パソコンから取り外し、電源オフ状態でしばらく放置してから接続してください。）
• 充電中に電池があたたかくなることがありますが異常ではありません。
• 満充電しても、電池の使用時間が著しく短くなったときが電池の寿命です。新しいリチウムイオン充電池（専用品）をお買い求めください。
• 充電中は電池カバーを必ず閉めてください。
• データ転送中でも充電はできますが、使用状況によっては充電完了後の使用時間が短くなることがあります。

パソコンで見る本機のフォルダ / ファイルについて

本書の中では、本機に microSD カード（本機でフォーマット済み）が入っている状態の画像を使って説明しています。この場合、画面上では「XPS01_03」と表示されます。

1 本機をパソコンに接続する

☞ **パソコンに接続する（172 ページ）**

2 マイ コンピュータを開く

［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］をクリックする。または、デスクトップ上の［マイ コンピュータ］をダブルクリックする。

3 XPS01_03 を開く

［XPS01_03］をダブルクリックする。

☞ **XPS01_03 が表示されない場合（194 ページ）**

本機のフォルダが表示されます。
☞ ファイル / フォルダについて（35 ページ）

・ ドライブ名について
microSD カードを本機でフォーマットを行なうと「XPS01_03」と表示されます。
本機でフォーマットを行っていない microSD カードが入っている場合や本機に microSD カードが入っていない場合は、「リムーバルディスク」と表示されます。

- **本機で録音した MP3 または、WAV ファイルの名前をパソコンで変更すると、元のフォルダで再生できなくなります。ファイル名規則に沿ったファイル名に戻すか、MUSIC フォルダに移して再生してください。（☞ 36 ページ）**

ファイルの管理

録音した音声ファイルをパソコンに保存する

1 本機をパソコンに接続し、マイコンピューターから XPS01_03 を開く

☞パソコンに接続する（172 ページ）

・ マイコンピューターの開き方については（☞ 176 ページ）

2 録音した音声ファイルが入っているフォルダを開く

［XPS01_03］内の［MIC_A］をダブルクリックする。

・ ここでは、「MIC_A」フォルダを開く例です。

☞ファイル / フォルダについて（35 ページ）

3 パソコンに保存したいファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから [コピー] をクリックする

コピーする準備が完了しました。

・ パソコンに保存するとともにそのファイルを本機から消去する場合は [切り取り] を選んでください。

4 保存先のフォルダを開く

［スタート］メニューから［マイミュージック］をクリックする。

- ここでは［マイ ミュージック］に保存する例です。

5 音声ファイルを転送する

［編集］をクリックし､表示されたメニューから［貼り付け］をクリックする。

保存先のフォルダに同じ名前のファイル作成されたら保存完了です。

- **転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。**

6 本機をパソコンから取り外す

☞パソコンから取り外す（173 ページ）

パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す

マイミュージックに保存した音声ファイルを本機に戻して再生する方法について説明します。パソコンに保存されたファイルを本機で聞くときは、MUSIC フォルダに転送してください。

1 **本機をパソコンに接続する**
☞パソコンに接続する（172 ページ）

2 **マイ ミュージックを開く**
[スタート] メニューから「マイ ミュージック」をクリックする。または、デスクトップ上の [マイ ミュージック] をダブルクリックする。

- マイ ミュージック以外の他の場所にファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

3 **転送したい音声ファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから [コピー] をクリックする**
コピーする準備が完了しました。

4 マイ コンピュータから XPS01_03 を開く

・マイコンピューターの開き方については（☞ 176 ページ）

5 MUSIC フォルダを開く

［MUSIC］をダブルクリックする。

6 音声ファイルを転送する

［編集］をクリックして表示されるメニューから［貼り付け］をクリックする。
コピーが開始され、同じ名前のファイルが作成されたら転送完了です。

- **転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。**

7 本機をパソコンから取り外す

☞パソコンから取り外す（173 ページ）

知っておくと便利です

■ファイルを MIC_A ～ D、LINE、FM フォルダに戻す場合

・ファイル名規則（☞ 36 ページ）に沿ったファイルのみ再生できます。ファイル名を確認し、元のフォルダへ入れてください。ファイル名から元のフォルダを調べることができます。

001A_100112_1418.MP3

元のフォルダ
A ～ D: MIC_A ～ D フォルダ
L: LINE フォルダ
F: FM フォルダ

ファイルの管理

音声ファイルを CD-R/RW にコピーする

本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。以降の手順は、本機で録音した音声ファイルを、[マイ ドキュメント] の [マイ ミュージック] に保存した状態で説明しています。

- **CD-R/RW にコピー中は、他の操作をしないでください。ノイズ混入の原因になります。**

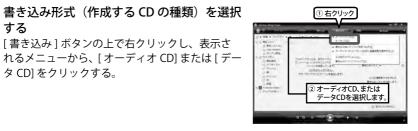
1 **Windows Media Player を起動する**

画面左下の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］をクリックして、Windows Media Player11 を起動する。

2 **[書き込み] をクリックする**

書き込み画面が表示されます。

3 **書き込み形式（作成する CD の種類）を選択する**

[書き込み] ボタンの上で右クリックし、表示されるメニューから、[オーディオ CD] または [データ CD] をクリックする。

［オーディオ CD］：
CD-DA 形式に変換して CD-R/RW にコピーします。CD-R 対応のコンポやカーオーディオなどで再生できます。
［データ CD］：
本機で録音した形式（MP3、PCM）のまま CD-R/RW にコピーします。パソコン上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。

・ オーディオ CD を選択して CD-R/RW にコピーする場合、CD の容量によって最大で以下の記録時間となります。（あくまで理論値であり、保証するものではありません）
650MB…74 分
700MB…80 分
コピーしたい音声ファイルが上記時間以上のときは、あらかじめ本機でファイル分割してください。

☞**録音したファイルを分割する（98 ページ）**

4 空の CD-R を CD-R/RW ドライブに挿入する

書き込みリストの上に、挿入した CD の情報（残り記録時間など）が表示されます。

5 [スタート] メニューから [マイミュージック] を開く

・ マイミュージック以外の他の場所に書き込むファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

ファイルの管理

6 CD-R にコピーしたいファイルを Windows Media Player の [書き込みリスト] にドラッグ＆ドロップして追加する

[書き込みリスト] に追加されたファイルが表示されます。

- ドラッグ＆ドロップとは、パソコン画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態で、マウスの左ボタンをクリックしたまま移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）操作のことです。

- 書き込みリスト上でファイルの再生時間が表示されていないファイルは、書き込みエラーとなります。この場合は一度そのファイルをダブルクリックして再生してください。時間が表示されるようになり、書き込みもできるようになります。

7 書き込みを開始する

[書き込みの開始] をクリックして、CD-R への書き込みを開始する。

8 書き込みの完了

[完了] と表示されたら、CD-R/RW への書き込みは完了です。

- Windows Media Player の設定によっては、自動的に CD トレイが開きます。

- 書き込みリストに追加した音声ファイルの合計時間が記録可能時間を超えた場合、Windows Media Player11 は自動的に複数の CD に分けて書き込みます。また、Windows Media Player11 は書き込み時に曲の間に 2 秒間の間隔を空けるため、合計時間が CD の長さと正確に一致していても最後の曲が収まらない可能性があります。

本機で音楽を聞く

本機で音楽を楽しむには、まずパソコンに音楽ファイルを記録し、それを本機に転送する必要があります。

■音楽ファイルを記録するには

音楽ファイルを記録するには以下の 2 通りの方法があります。

・ 音楽 CD や語学 CD などから作成する
・ インターネット上の音楽配信サービスを利用する

本機で再生できる形式は、次の 3 形式のファイルです。

・ WMA 形式のファイル（PD-DRM 対応）
・ MP3 形式のファイル
・ 本機で録音した WAV 形式のファイル

※AAC 形式など、本機に対応していない記録形式では再生できません。
※ microSD カードに転送した **PD-DRM ファイル**は、転送を実行した本機以外（他の機器や同一モデルの他機など）では再生できません。

- **お客様が取得した MP3・WMA・WAV 形式ファイルは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で複製や配布したり、インターネットへの掲載などに使用することは、固く禁じられています。**
- **本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、または音楽ファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。**

音楽 CD を記録する場合	音楽配信サービスを利用する場合
Windows Media Player を起動し、音楽 CD の曲をライブラリへ取り込みます。 ライブラリへの取り込みが終わった段階で、音楽 CD の内容が MP3（または WMA）形式の音楽ファイルへと変換されます。 ☞ **音楽ファイルを作成する（CD リッピング）（187 ページ）**	WMA 形式に対応している音楽配信ホームページから音楽ファイルを購入します。 本機は PD-DRM に対応しています（DRM10 には対応していません）。

▼ ▼

Windows Media Player を使って音楽ファイルを転送します。
☞ **Windows Media Player で音楽ファイルを転送する（189 ページ）**

音楽ファイルを作成する（CD リッピング）

音楽 CD や語学 CD などから本機で再生可能なファイル（MP3 または WMA）を作成し、パソコンに取り込む方法について説明します。

- **CD から音楽ファイルを取り込み中は、他の操作をしないでください。ノイズ発生の原因となります。**

1 **Windows Media Player を起動する**

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択して、Windows Media Player11 を起動する。

2 **Windows Media Player の設定を変更する**

[取り込み] の上で右クリックして表示されるメニューから、[形式] - [mp3] をクリックする。

3 **[取り込み] をクリックし、音楽 CD をパソコンの CD-R/RW ドライブに挿入する**

- お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽 CD の曲情報を入手して表示します。インターネットに接続していない場合や、CD の種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

4 取り込みを開始する

パソコンに取り込みたい曲にチェックをつけて[取り込みの開始] をクリックする。

・ Windows Media Player の設定によっては、CD を挿入したとき自動的に取り込みが開始されます。

5 取り込みの完了

選択した曲がすべて［ライブラリに取り込み済み］と表示されたら、取り込みは完了です。
取り込まれたファイルは、Windows Media Player の初期設定では、マイミュージックにアーティストやアルバムごとに分かれて保存されます。

Windows Media Player で音楽ファイルを転送する

パソコンに取り込んだ音楽ファイルを、本機に転送することができます。
CD からパソコンに音楽ファイルを取り込む方法については「音楽ファイルを作成する（CD リッピング）」を参照してください。（☞ 187 ページ）

・ 音楽ファイルは Windows のエクスプローラで転送することもできます。（178 ページ）

1 Windows Media Player を起動する

「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「Windows Media Player」を選択して、Windows Media Player11 を起動する。

2 [同期] をクリックする

同期画面が表示されます。

3 本機をパソコンに接続する

☞ **パソコンに接続する（172 ページ）**

接続した機器の情報が表示されます。
デバイスの設定画面が表示された場合は [完了] をクリックしてください。

ファイルの管理

4 同期の設定を行う

[同期] の上で右クリックし、表示されるメニューから [リムーバブルディスク] – [詳細オプション] をクリックする。

5 [同期] タブの [デバイスにフォルダ階層を作成する] にチェックをつけ、[OK] をクリックする

初期状態でチェックが入っていると、フォルダが作成されない場合がありますので、一度チェックを外してから、再度チェックをつけ、[OK] をクリックしてください。

6 同期リストを作成する

画面左側のライブラリから同期したい音楽ファイルを選択し、画面右側の「同期リスト」にドラッグ＆ドロップする。

- Ctrl キーを押しながら音楽ファイルを選択することで、複数のファイルをまとめて選択して追加することができます。
- アーティストやアルバムのジャケット画像をドラッグ＆ドロップすれば、そのアーティストやアルバムに含まれるすべての曲が同期リストに追加されます。

7 同期を開始する

画面右下の [同期の開始] ボタンをクリックする。

8 同期の完了

[デバイスに同期されました] と表示されたら、同期は完了です。

microSD カードリーダー / ライターとして使用する

本機は、デジタルサウンドレコーダーとしての使い方のほかに、microSD カードリーダー / ライターとしてご使用いただけます。文書や画像データを microSD カードに保存することもできます。

パソコンのデータを本機にコピーする

1 パソコンを起動する

2 本機をパソコンに接続する
☞パソコンに接続する（172 ページ）

3 エクスプローラを起動する
［スタート］メニューをクリックし、［マイコンピュータ］の上で右クリックし、表示されたメニューから［エクスプローラ］をクリックする。

4 コピーするファイルが入っているフォルダを開き、コピーするファイルを選択して右クリックし、[コピー] をクリックする

5 ［XPS01_03］をクリックする

6 ［DATA］をダブルクリックして開く

7 [編集] をクリックし、メニューから [貼り付け] をクリックする

DATA に同名のファイルが作成されたら、コピー完了です。

8 本機をパソコンから取り外す

☞**パソコンから取り外す（173 ページ）**

本機が正常に認識されているか確認する

● Windows7、Windows Vista

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。
[スタート] メニューの「コンピュータ」アイコンの上で右クリックし､表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システム] 画面を開きます。
[デバイスマネージャ] をクリックして（Windows Vista をお使いの場合、ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は [続行] をクリックしてください。）[デバイスマネージャ] 画面を開きます。
[ディスクドライブ] 及び [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

● Windows XP

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。
[スタート] メニュー（またはデスクトップ上）の [マイコンピュータ] アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システムのプロパティ] 画面を開きます。
[ハードウェア] タブ内の [デバイスマネージャ] をクリックしてデバイスマネージャ画面を開き、[ディスクドライブ] および [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

デバイスマネージャで正しく表示されなかったら

以下の手順で確認を行ってください。

①起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
②接続されている他の USB 機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
③パソコンに USB 端子が複数ある場合（前面・背面など）は、別の USB 端子に本機を接続してください。
④バスパワー型 USB ハブ（USB 端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンの USB 端子に直接付属の microUSB 接続ケーブルを使用して本機を接続してください。

・ 接続する USB ケーブルは、必ず付属の microUSB 接続ケーブルを使用してください。

エリアバンド一覧

札幌

	放送局	表示名	周波数
1	FM 北海道	AIR-G’	80.4 MHz
2	FM ﾉｰｽｳｪｰﾌﾞ	NORTH WAVE	82.5 MHz
3	NHK FM 札幌	NHK 札幌	85.2 MHz

仙台

	放送局	表示名	周波数
1	FM 岩手	FM IWATE	76.1 MHz
2	FM 仙台	Date fm	77.1 MHz
3	FM 青森	FM 青森	80.0 MHz
4	FM 山形	BOY FM	80.4 MHz
5	ふくしま FM	ふくしま FM	81.8 MHz
6	NHK FM 仙台	NHK 仙台	82.5 MHz
7	FM 秋田	FM 秋田	82.8 MHz

東京

	放送局	表示名	周波数
1	Inter FM	Inter FM	76.1 MHz
2	FM 栃木	RADIO BERRY	76.4 MHz
3	bay ｆｍ	bayfm	78.0 MHz
4	NACK5	NACK5	79.5 MHz
5	TOKYO FM	TOKYO FM	80.0 MHz
6	J-WAVE	J-WAVE	81.3 MHz
7	NHK FM 東京	NHK FM 東京	82.5 MHz
8	FM 富士	FM-FUJI	83.0 MHz
9	FM ヨコハマ	FM ヨコハマ	84.7 MHz
10	FM 群馬	FM GUNMA	86.3 MHz

名古屋

	放送局	表示名	周波数
1	FM 福井	FMFUKUI	76.1 MHz
2	FM-NIIGATA	FM-NIIGATA	77.5 MHz
3	ZIP FM	ZIP-FM	77.8 MHz
4	FM 三重	RADIO3 FM 三重	78.9 MHz
5	FM PORT	FM PORT	79.0 MHz
6	K-MIX	K-MIX	79.2 MHz
7	RADIOi	RADIO-i	79.5 MHz
8	FM 長野	FM NAGANO	79.7 MHz
9	Radio 80	Radio 80	80.0 MHz
10	FM 石川	FM ISHIKAWA	80.5 MHz
11	FM 愛知	FM AICHI	80.7 MHz
12	NHK FM 名古屋	NHK 名古屋	82.5 MHz
13	FM とやま	FM とやま	82.7 MHz

大阪

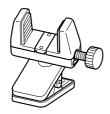
	放送局	表示名	周波数
1	FM COCOLO	FM CO・CO・LO	76.5 MHz
2	FM 滋賀	e-radio	77.0 MHz
3	FM802	FM802	80.2 MHz
4	NHK FM 京都	NHK FM 京都	82.8 MHz
5	FM 大阪	fm osaka	85.1 MHz
6	NHK FM 神戸	NHK FM 神戸	86.5 MHz
7	NHK FM 大阪	NHK FM 大阪	88.1 MHz
8	α -station	α -station	89.4 MHz
9	Kiss FM	Kiss-FM	89.9 MHz

広島			
	放送局	表示名	周波数
1	FM 岡山	FM 岡山	76.8 MHz
2	FM 山陰	fm-sanin	77.4 MHz
3	HFM	広島 FM	78.2 MHz
4	FM 香川	FM 香川	78.6 MHz
5	FM 山口	FM 山口	79.2 MHz
6	FM 愛媛	FM 愛媛	79.7 MHz
7	FM 徳島	FM 徳島	80.7 MHz
8	FM 高知	FM KOCHI	81.6 MHz
9	NHK FM 広島	NHK FM 広島	88.3 MHz

福岡			
	放送局	表示名	周波数
1	LOVE FM	LOVE FM	76.1 MHz
2	フレンズ FM	フレンズ FM	76.2 MHz
3	FM 熊本	FMK	77.4 MHz
4	FM 佐賀	FM 佐賀	77.9 MHz
5	CROSS FM	CROSS FM	78.7 MHz
6	FM 長崎	fmnagasaki	79.5 MHz
7	FM 鹿児島	μ FM	79.8 MHz
8	FM 福岡	fm fukuoka	80.7 MHz
9	FM 宮崎	JOY FM	83.2 MHz
10	NHK FM 福岡	NHK FM 福岡	84.8 MHz
11	FM 沖縄	FM Okinawa	87.3 MHz
12	FM 大分	FM 大分	88.0 MHz

関連商品について

デジタルサウンドレコーダーをより便利にご使用いただくための別売品のご紹介です。

ステレオ 3 WAY マイク HM-250 携帯電話、ビジネスホンや家庭用固定電話の録音、バイノーラル録音、ポケット録音に対応した多機能 3 WAY マイク。	**USB 対応 AC アダプター** D-5V-USB2 AC 駆動が可能になります。 安全保護回路搭載で簡単充電。
三脚穴付きクリップスタンド KA-ICRST1 カメラ用三脚（市販品）に装着したり、クリップで楽譜スタンドに挟んだりできます。また、机上に置けばそのままスタンドとしても使えます。	

エラーメッセージ

本機の各操作中にエラーメッセージが表示されることがあります。
エラーメッセージの内容は、下記のとおりです。

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
バッテリー低下	電池切れです 電池を 充電してください	電池切れになった場合に表示されます。	45 ページ
再生	再生するﾌｧｲﾙが ありません	フォルダ内に再生ファイルがない場合で、再生ボタンを押した場合に表示されます。	85 ページ
	このファイルは 可変速再生 できません	PCM 録音再生時に、再生スピードの変更操作をした場合に表示されます。	89 ページ
録音	容量が一杯です	microSD カードに空き容量がない時に録音した場合に表示されます。	211 ページ
	ﾌｧｲﾙが一杯です	各フォルダの録音可能なファイル数を超えて録音した場合に表示されます。	36 ページ 37 ページ
編集（インデックス）	インデックス が一杯です	インデックスが最大数（1 ファイルあたり 36）を超えた場合に表示されます。	95 ページ
編集（ファイル分割）	このフォルダに これ以上の ファイルを 作成できません	フォルダ内に再生可能なファイル数が最大まである状態で、ファイル分割操作をした場合に表示されます。	98 ページ
	ファイル分割に 必要な空き容量 が足りません	ファイル分割するために必要な microSD カードの空き容量がない場合に表示されます。	98 ページ
	録音時間が 短いので 分割できません	ファイル分割可能な録音時間よりも短いファイルを分割操作した場合に表示されます。	98 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
編集（ファイル分割）	現在の停止位置 ではファイルを 分割できません	ファイル分割できない位置で分割操作した場合に表示されます。	98 ページ
編集（全般）	MUSIC ﾌｫﾙﾀﾞ では 編集できません	MUSIC ファイルを選択時にファィル分割操作をした場合に表示されます。	37 ページ 98 ページ
リスト表示	再生するﾌｧｲﾙが ありません	フォルダ内に本機で再生できるファイルがない場合に表示されます。	41 ページ
ゴミ箱	ゴミ箱ﾌｫﾙﾀﾞ では 編集できません	ゴミ箱フォルダ内のファィルを選択時にファィル分割操作をした場合に表示されます。	38 ページ 98 ページ
	ゴミ箱が 一杯です 空にして下さい	ゴミ箱設定「ON」で、ゴミ箱フォルダ内のファイルが最大（199）まである状態でファイルを削除し、これ以上ゴミ箱へ移せない場合に表示されます。	135 ページ 137 ページ
	＊が一杯です ファイルを 戻せません	ゴミ箱からファイルを戻した際に、戻し先のフォルダに録音可能な最大数のファイルが存在している場合に表示されます。（＊は戻し先のフォルダ名）	132 ページ
	ﾌｧｲﾙをｺﾞﾐ箱に 移せません 空にして下さい	microSD カードに空容量がないため、ファイル削除やフォルダ削除ができない場合に表示されます。	130 ページ
microSD カード関連	microSD ｶｰﾄﾞ が 正しく 認識しません 再挿入下さい	microSD カードの挿入で認識に失敗した場合や、microSD カードが壊れている場合などに表示されます。	50 ページ
	microSD カード 書込み速度が 遅いです	PCM 録音時などに録音の書き込みが正しくできない状態が発生した際に表示されます。	51 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
FM ラジオ	ﾌﾟﾘｾｯﾄﾓｰﾄﾞで ﾁｬﾝﾈﾙ選択し 削除して下さい	周波数選択モードでプリセット削除を実行したときに表示されます。	114 ページ
プレイリスト編集	このﾌﾟﾚｲﾘｽﾄに これ以上ファイルを 登録できません	1 つのプレイリスト（MYLIST）に 100 ファイル目を登録しようとした場合に表示されます。	101 ページ
	MUSIC フォルダ 以外では ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ操作 できません	MUSIC（M）フォルダ以外のフォルダ内のファイルを選択して、プレイリスト（MYLIST）に登録しようとした場合に表示されます。	101 ページ
	全てのﾌｧｲﾙを ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄへ追加 できません でした	1 つのプレイリスト（MYLIST）に 100 ファイル以上のファイルを登録しようとした場合に表示されます。	101 ページ
	ﾌｧｲﾙがない為 ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ操作 できません	プレイリストに登録されている元のファイルが削除されている場合に表示されます。	101 ページ
	ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾌｧｲﾙは 選択できません	リスト表示中にプレイリストファイルを選択して MENU にタッチしたときに表示されます。	101 ページ
	ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾌｧｲﾙ 再生中は ﾌｫﾙﾀﾞｽｷｯﾌﾟ できません	プレイリスト（P1 ～ P5）再生中に、フォルダスキップしようとしたときに表示されます。	94 ページ
	ファイル名を 更新しています。	ファイルやフォルダの削除中に電源が切れた場合、次回、電源を入れた時や microSD カードにアクセスした際、ファイル名を更新するときに表示されます。	130 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
全曲モード	全曲ﾓｰﾄﾞの 再生範囲外の ﾌｧｲﾙです 設定できません (最大 3000 曲)	3000 曲以上のﾌｧｲﾙを選択した状態でリピートモードを全曲や全曲ﾗﾝﾀﾞﾑを選択した場合に表示されます。	155 ページ
	空き容量がない為 楽曲ﾘｽﾄを作成 できません 不要なﾌｧｲﾙを 削除してください	microSD カードのメモリ容量が一杯で、楽曲情報管理ファィルが作成できない場合に表示されます。	155 ページ
	楽曲リストが 作成できません	何らかの原因（microSD カード書込みエラーなど）により、楽曲情報管理ファィルが作成できない場合に表示されます。	155 ページ
	楽曲ﾘｽﾄが ないため ＊＊＊＊＊＊＊ 設定できません	楽曲リストが作成できていない場合に、下記リピート設定を選択した場合に表示されます。 ＊＊＊＊＊＊＊の部分には「全曲ﾘﾋﾟｰﾄ」または「全曲ﾗﾝﾀﾞﾑ」が入ります。	155 ページ 94 ページ

故障かな？と思ったら

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　　因	電池が正しく入っていないか、電池切れである
解決方法	電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または、新しい電池に交換してください。 43ページ「電池を入れる」参照

ボタンまたはスイッチを押しても反応しない

原　　因	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている
解決方法	誤動作防止機能（ホールド機能）を解除してください。 49ページ「誤動作を防止する（ホールド機能）」参照

原　　因	USB接続したままである
解決方法	本機をパソコンから取り外してください。 173ページ「パソコンから取り外す」参照

原　　因	タッチセンサーの感度が低い
解決方法	感度を調整してください 165ページ「センサー感度」参照

microSD カードが認識されない

原　　因	microSDカードが正しく挿入されていない
解決方法	本機の電源をオフにし、再度microSDカードを挿入し直してください。

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 84ページ「再生の基本操作」参照

フォルダ（MIC_A ～ D、LINE、FM、🗑）内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解決方法	上記フォルダ内のファイルは、パソコンでファイル名を変更すると元のフォルダに戻しても再生できなくなりますが、MUSIC（M）フォルダに転送すると、本機で再生できるようになります。
原　　因	本機で録音したWAV形式の音声ファイルではない
解決方法	本機以外で録音したWAV形式の音声ファイルの再生はできません。

MUSIC（M）フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	再生できるファイル形式ではない
解決方法	正常に再生できるWMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。
原　　因	本機で録音したWAV形式の音声ファイルではない
解決方法	本機以外で録音したWAV形式の音声ファイルの再生はできません。
原　　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、MUSIC（M）フォルダ以外のフォルダに入れても、本機で再生できません。必ずXPS01_03内のMUSIC（M）フォルダ内に転送してください。 189ページ「Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する」参照
原　　因	本機で再生できないファイルとなっている
解決方法	エンコーダー（MP3・WMA変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。
原　　因	プレイリストに書かれているファイルがMUSIC(M)フォルダ内にない
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSIC(M)フォルダ内にそのファイルを転送してください。
原　　因	転送方法が異なる
解決方法	著作権保護されているファイルは、エクスプローラで転送しても再生できません。Windows Media Playerで転送してください。 189ページ「Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する」
原　　因	再生可能なファイル数を超えている
解決方法	1つのフォルダにつき最大199ファイルのみ再生可能です。サブフォルダがある場合は、サブフォルダの数だけ、再生できるファイル数が減ります。別のフォルダに保存してください。

ファイル分割ができない

原因	microSDカードの空き容量が足りない
解決方法	不要なファイルを消去してください。 135ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照

原因	ファイルの録音時間が短すぎる
解決方法	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 PCM44.1…約2秒以上、MP3:320…約2秒以上、MP3:192…約2秒以上、MP3:128…約4秒以上、MP3:64…約8秒以上、MP3:32…約16秒以上

原因	フォルダ内の最大ファイル数（199）を超えている
解決方法	不要なファイルを消去してください。 135ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照

ファイルが消去できない

原因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている
解決方法	本機をパソコンに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。または、microSDカードのフォーマット（初期化）をおこなってください。 139ページ「microSDカードを初期化する（フォーマット）」参照

PC 接続時に、XPS01_03 が表示されない

原因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	microUSB接続ケーブルが本機側、パソコン側共に最後まで正しく差し込まれていることを確認の上、再度接続してください。 172ページ「パソコンに接続する」参照

原因	Windows 98, 98SE, 2000, MeのPCおよびMacintoshに接続している
解決方法	Windows 98, 98SE, 2000, Me及びMacintoshはサポートしていません。

原因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	バスパワー型USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSB端子と本機を直接接続するか、またはセルフパワー型（電源アダプター付）のUSBハブを使用してください。または、パソコン本体に複数USB端子がある場合は、他のUSB端子に接続してください。 172ページ「パソコンに接続する」参照

原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名を表すアルファベット）がぶつかり、XPS01_03が作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

録音した音声に音の歪み（音割れ）が発生している

原　　因	マイク感度が適切でない
解決方法	・マイク感度を「低」に切り換えてください。それでも音割れする場合は「LowCutフィルタ」をON、マイクALCをOFFにし、録音レベルを調整して録音してください。 149ページ「マイク感度」参照 152ページ「LowCutフィルタ」参照

録音したファイルに音とびが発生する

原　　因	推奨品以外のmicroSDカードを使っている
解決方法	推奨品のmicroSDカードをご使用ください。 51ページ「本機で使用可能なmicroSDカード」参照

原　　因	・microSDカードを本機以外（パソコンなど）でフォーマットした ・メモリの断片化が進んでいる
解決方法	microSDカードを本機でフォーマットしてください。 139ページ「microSDカードを初期化する（フォーマット）」参照

PC 接続時に、本機の画面に接続アイコン表示がでない

解決方法	パソコンによっては、パソコンに接続した時に、本機の画面に接続アイコン表示がでない場合や、パソコン側で本機が認識されない場合があります。その時は本機をパソコンより抜いて再度接続してください。

カレンダーが正しく表示されない

解決方法	日時を再設定してください。 58ページ「カレンダー（日時）を設定する」参照

ファイルを削除したのに空き領域が増えない

原因	ゴミ箱の設定がONになっている
解決方法	ゴミ箱の中身を消去してください。 133ページ「ゴミ箱フォルダ内のファイルを空にする」参照

タイマーが正常に動作しない（予約録音ができていなかった）

原因	カレンダーが初期化されている
解決方法	カレンダーの設定を行なってください。 58ページ「カレンダー（日時）を設定する」参照

原因	録音先のフォルダーがいっぱいになっている
解決方法	不要なファイルを消去してください。 135ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照 録音先を変更してください。

原因	電池の残量がない
解決方法	電池を充電してください。 45ページ「電池の残量について」参照

原因	microSDカードの空き容量がない
解決方法	不要なファイルを消去してください。 135ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照

原因	本機にmicroSDカードが入っていない
解決方法	microSDカードを取り付けてください。 50ページ「microSDカードを取り付ける/取り外す」参照

録音するとノイズが聞こえる

原　　因	録音モードやマイク感度が適切でない（マイク録音の場合）
解 決 方 法	録音モードやマイク感度を切り換えてためし録音しながら、最適な録音環境に設定してください。 149ページ「録音モード」参照 149ページ「マイク感度」参照

録音しているのにレベルメーターが動かない、録音したファイルが無音になる

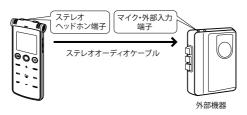
原　　因	マイクALCがOFFで、マイク感度が「0」になっている
解 決 方 法	録音レベルを調整する。 72ページ「録音する」手順4参照

よくあるご質問

Ｑ：マイク録音した音声にガサガサ雑音が入るのはなぜ?

Ａ：マイク録音中に本機や本機を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。マイク録音中はできるだけ本機を動かさないようにしてください。

Ｑ：録音内容をテープ・ＭＤなどに保存するには?

Ａ：オーディオケーブルを使用し、本機のヘッドホン端子と録音する外部機器（カセットレコーダーなど）の外部入力端子を接続してください。

使用するオーディオケーブル

録音する外部機器側の入力端子に合わせて､以下のオーディオケーブルをご使用ください。

外部機器側	オーディオケーブル
マイク入力	ミニプラグ:3.5ø､抵抗入り(市販品)
音声ライン入力	ミニプラグ:3.5ø､抵抗なし(付属品)

- ステレオのオーディオケーブルをご使用ください。
- ダビングする時は､事前にためし録音をし､本機で音量の調節を行ってください。
- テープレコーダーやMDプレーヤーから本機への録音も可能です｡☞ 80ページ

Q：電話の音声を録音するには?

A：別売品：3WAY ステレオマイク「HM-250」を使って録音できます。携帯電話や家庭用電話または、ビジネスホンなどの会話を録音するときも便利です。

3WAYステレオマイク「HM-250」

Q：うまく録音するコツは?

A：録音場所や周囲の状況により録音状態が異なりますので、事前に試し録音をして適切な録音モードやマイク感度を選択してください。149 ページを参考に、本機の設定を行ってください。

Q：パソコンにいったん保存した録音ファイルを、本機に再び戻したら再生できなくなりました。

A：パソコンでファイル名を変更していませんか?ファイル名を変更すると、MIC_A ～ D フォルダや LINE フォルダなどに戻しても再生できません。ファイル名を変更した場合は、MUSIC フォルダに転送すると再生できるようになります。

その他のよくあるご質問ならびに本機ファームウェアのバージョンアップ情報については、当社ホームページのサポートページ http://jp.sanyo.com/icr/support/index.html　にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

お手入れについて

柔らかい布でふいてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

■温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本機の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

デジタルサウンドレコーダー本体の仕様

対応 OS ： Windows 7/Vista/XP

付属 microSD カード ： 2GB（ICR-XPS01MF）
4GB（ICR-XPS03MF）

対応メディア ： microSD カード、microSDHC カード
※当社推奨 microSD カード以外での動作保証はいたしません。当社基準において動作確認済みのカードについては、当社サポートホームページを確認ください。
http://jp.sanyo.com/icr/support/gaibu.html

録音モードと録音可能時間 ：
（microSD カード /microSDHC カード）

録音モード	microSD カードのサイズ			
	1GB	2GB	4GB	8GB
PCM44.1kHz（ステレオ）	約 1 時間 20 分	約 3 時間	約 6 時間	約 12 時間
MP3 320kbps（ステレオ）	約 7 時間	約 13 時間 30 分	約 27 時間	約 54 時間
MP3 192kbps（ステレオ）	約 11 時間	約 22 時間 30 分	約 45 時間	約 90 時間
MP3 128kbps（ステレオ）	約 16 時間 30 分	約 34 時間	約 68 時間	約 136 時間
MP3 64kbps（ステレオ）	約 33 時間	約 68 時間	約 136 時間 30 分	約 272 時間
MP3 32kbps（モノラル）	約 66 時間	約 136 時間	約 273 時間	約 544 時間

- 表記の録音時間は目安です。microSD カードのメーカー、仕様により変わることがあります。
- 録音されたファイルが複数あるときは、合計の録音時間はこれより短くなります。
- 録音可能時間とは、microSD カードに何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合のすべてのフォルダの最大合計時間です。

※ 1 ファイルあたりの最長録音時間（連続録音時間）は 2GB までです。
ただし、電池の持続時間を超えて連続録音することはできません。

録音周波数特性	：	40 ～ 21,000Hz（PCM 44.1kHz 16bit 時）
（外部マイク録音時）		40 ～ 20,000Hz（MP3 320kbps 時）
		40 ～ 20,000Hz（MP3 192kbps 時）
		40 ～ 15,000Hz（MP3 128kbps 時）
		40 ～ 7,500Hz（MP3 64kbps 時）
		40 ～ 6,500Hz（MP3 32kbps 時）
（内蔵マイク録音時）	：	60 ～ 20,000Hz（PCM 録音時） ※ MP3 録音時の周波数特性の上限値は、外部マイク録音時の各録音モードに準じます。また、下限値は各録音モード 60Hz となります。
録音フォーマット	：	MP3、PCM（WAV）
再生フォーマット	：	MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3）、WMA、PCM（本機で録音したファイルのみ）
再生周波数特性	：	20 ～ 21,000Hz（44.1kHz サンプリング周波数時）
サンプリング周波数	：	16 ～ 44.1kHz
再生対応ビットレート	：	16 ～ 320kbps（MP3） 32 ～ 192kbps（WMA） ※ファイルによっては正常に再生されない場合があります。
ラジオ受信周波数	：	［FM］76 ～ 90MHz
入・出力端子	：	microUSB、ステレオヘッドホン 3.5ø ミニ、ステレオマイク（ライン入力兼用）3.5ø ミニ、microSD カードスロット、専用 I/O 端子
動作温度	：	＋ 5℃～＋ 35℃
定格出力（ヘッドホン）	：	1.8mW ＋ 1.8mW（16 Ω負荷時、サウンド EQ: FLAT 時） 10mW ＋ 10mW（16 Ω負荷時、JEITA/DC）
（スピーカー）	：	120mW（170 Ω負荷時、JEITA/DC）
電源	：	リチウムイオン充電池、AC 電源（USB、専用 I/O 端子）
充電時間	：	約 150 分 ※充電時間は、おおよその目安であり、使用環境によって変わります。特に室温 35℃前後の非常に暑い場所で充電する場合、充電回路の安全装置が働くため、途中で充電が止まり満充電にならないことがありますので、30℃以下の環境での充電をおすすめします。

項目		形式	時間
電池持続時間 （録音時間）	：	［MP3］32kpbs モノラルモード	約 20 時間（省電力モード） 約 40 時間（消灯モード）
		［MP3］64kpbs ステレオモード	約 19 時間（省電力モード） 約 36 時間（消灯モード）
		［PCM］44.1kHz 16bit	約 14 時間（省電力モード） 約 23 時間（消灯モード）
（ラジオ録音時間）	：	［MP3］128kpbs	約 12 時間（省電力モード） 約 16 時間（消灯モード）
（録音環境）	：	（省電力モード） バックライト点灯（省電力）、LED 設定 OFF、録音モニターなし、ALC ON 時 （消灯モード） バックライト消灯、LED 設定 ON、録音モニターなし、ALC ON 時	
（再生時間 / イヤホン）	：	［MP3］32kpbs モノラルモード	約 21 時間（省電力モード） 約 52 時間（消灯モード）
		［MP3］64kpbs ステレオモード	約 20 時間（省電力モード） 約 46 時間（消灯モード）
		［PCM］44.1kHz 16bit	約 15 時間（省電力モード） 約 26 時間（消灯モード）
（再生時間 / スピーカー）	：	［MP3］32kpbs モノラルモード	約 16 時間（省電力モード） 約 32 時間（消灯モード）
		［MP3］64kpbs ステレオモード	約 16 時間（省電力モード） 約 30 時間（消灯モード）
		［PCM］ 44.1kHz 16bit	約 13 時間（省電力モード） 約 21 時間（消灯モード）
（再生時間 / 本体リチウムイオン充電池駆動時クレードルスピーカー）		［MP3］32kpbs モノラルモード	約 13 時間（省電力モード） 約 21 時間（消灯モード）
		［MP3］64kpbs ステレオモード	約 13 時間（省電力モード） 約 20 時間（消灯モード）
		［PCM］ 44.1kHz 16bit	約 10 時間（省電力モード） 約 15 時間（消灯モード）
（ラジオ受信 / イヤホン）		約 14 時間（省電力モード） 約 24 時間（消灯モード）	

(再生環境)		（省電力モード） バックライト点灯（省電力）、LED 設定 OFF、サウンド EQ FLAT 時 （消灯モード） バックライト消灯、サウンド EQ FLAT 時 ※消灯モードの場合、録音中や再生中は 30 秒経過すると画面、操作部ともに暗くなるため、状況を確認する場合はタッチ操作部を一度タッチして下さい。 ※電池持続時間は、保管状態、使用条件、使用周囲温度、使用する microSD カードなどによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。付属のリチウムイオン充電池以外での動作保証はいたしません。
最大外形寸法	：	（ICR-XPS01M）約 幅 38.8 ×高さ 96.3 ×奥行き 9.4(mm) （ICR-XPS03M）約 幅 38.8 ×高さ 108.7 ×奥行き 9.4(mm)
質量	：	（ICR-XPS01M）約 46g（リチウムイオン充電池含む） （ICR-XPS03M）約 50g（リチウムイオン充電池含む）
付属品	：	ステレオイヤホン （1） microUSB 接続ケーブル （1） ステレオオーディオケーブル （1） リチウムイオン充電池 （1） マルチクレードル（ASX-SP00X） （1） マルチクレードル用 AC アダプター （1） microSD カード *[1] （1） 本書（保証書付） （1） かんたん操作ガイド （1） *1 ICR-XPS01MF は 2GB、ICR-XPS03MF は 4GB

付属マルチクレードルの仕様

（品番 : ASX-SP00X）

最大外形寸法	：	幅 162.9 ×高さ 113.8 ×奥行き 25.0 (mm)
質量	：	約 265g
入・出力端子	：	ステレオヘッドホン 3.5ø ミニ、ライン入力 3.5ø ミニ、専用 I/O 端子
出力	：	1.0W ＋ 1.0W (AC 動作時） 0.2W ＋ 0.2W (デジタルサウンドレコーダー本体リチウムイオン充電池駆動時）
スピーカー	：	フルレンジ 36mm　4 スピーカー
電源	：	AC アダプター DC5V (AC100V,50/60Hz) デジタルサウンドレコーダー本体リチウムイオン充電池 DC3.7V

付属のリチウムイオン充電池の仕様

（品番 : DB-L80）

電圧	：	3.7V
容量	：	700mAh
使用環境	：	（温度）　5 ～ 35℃（機器使用時） -10 ～ 30℃（保管時） （湿度）　10 ～ 90%（非結晶）
最大外形寸法	：	約 幅 39.2 ×高さ 31.4 ×奥行き 5.9(mm)
質量	：	約 15g

資料

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

■この商品には保証書がついています。
保証書の所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から１年間です

・保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は裏表紙と 221 ページ「無料修理規定」をご覧ください。
・保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
・当社は、このデジタルサウンドレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6 年保有しています。
・なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口（217 ページ）」にお問い合わせください

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1 故障の状況（できるだけくわしく）

2 品番（ICR-XPS01MF、ICR-XPS03MF）

3 お買い上げ年月日（保証書に記入）

4 おなまえ、おところ、電話番号

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談＜三洋電機株式会社お客さまセンター＞

受付時間：（365 日）9:00 ～ 18:30

総合相談窓口	050-3116-3434

※ 上記番号をご利用できない場合は**大阪 (06)-6994-9570** へおかけください。
※ 郵便または FAX でご相談される場合

三洋電機株式会社お客さまセンター　〒 570-8677 大阪府守口市京阪本通 2-5-5
FAX：大阪 (06)-6994-9510

家電商品の修理サービスについてのご相談＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間：　月曜日～金曜日 9:00 ～ 18:30（7 月～ 8 月）8:45 ～ 19:30
土曜・日曜・祝日・当社休日 9:00 ～ 17:30

<table>
<tr><th colspan="4">修理相談窓口</th></tr>
<tr><td rowspan="3">東京コールセンター
(050- がご利用できない場合は、
東京 03-5302-3401 へおかけください)</td><td>北海道地区</td><td colspan="2">050-3116-2333</td></tr>
<tr><td>東北地区</td><td colspan="2">050-3116-2444</td></tr>
<tr><td>関東・甲信越地区</td><td colspan="2">050-3116-2222</td></tr>
<tr><td rowspan="6">大阪コールセンター
(050- がご利用できない場合は、
大阪 06-4250-8400 へおかけください)</td><td>近畿地区</td><td colspan="2">050-3116-2555</td></tr>
<tr><td rowspan="2">中部・北陸地区</td><td>北陸</td><td>050-3116-2555</td></tr>
<tr><td>中部</td><td>050-3116-2666
沼津地区は、
050-3116-2222</td></tr>
<tr><td rowspan="2">中国・四国地区</td><td>中国</td><td>050-3116-2777</td></tr>
<tr><td>四国</td><td>050-3116-2555</td></tr>
<tr><td>九州地区</td><td colspan="2">050-3116-2888</td></tr>
</table>

沖縄地区	098-944-5018

(※) 沖縄地区の受付時間：月曜日～土曜日　9:00 ～ 17:30 日曜、祝日及び当社休日を除く）

●上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

持込み修理および部品についてのご相談＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間：　月曜日～土曜日 9：00 ～ 17：30（日曜、祝日、当社休日を除く）
※一部、土曜日も休日のサービス拠点があります。

家電商品の持込み修理および部品のご注文については、各地区のサービス拠点で承っております。
最寄の拠点は弊社ホームページ http://jp.sanyo.com もしくは上記コールセンターでご確認ください。

お客さまご相談窓口における　お客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://jp.sanyo.com をご覧ください。

さくいん

A

B

C

F

L

M

R

S

T

V

W

Z

あ

い

え

お

か

き

く

こ

さ

し

資料

無料修理規定

裏表紙の保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載に基づき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と保証書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
保証書の★印欄に記載のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。
●品番は色記号を省略しています。

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または破損。
　ロ．お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または破損。
　ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
　ニ．業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
　ホ．保証書の提示がないとき。
　ヘ．保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　ト．消耗部品（例えば電池など）の交換。
2．保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様の負担となります。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4．ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、三洋電機お客さまご相談窓口（217 ページ）をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合せください。
5．保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
6．保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

● 裏表紙の保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または三洋電機お客さまご相談窓口（217 ページ）にお問い合わせください。
● 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは 216 ページをご覧ください。